

VDRH-8000
本体操作説明書
(Ver. 1.0.0)

株式会社 オンテック

本書の仕様は、予告なく変更される場合があります。予めご了承ください。

改訂履歴

改定日	改訂番号	改訂ページ	改訂内容
2011/09/30	1.0.0		新規作成

～目次～

1. 電源投入前の準備	8
2. 電源投入	8
3. 電源の切り方	8
4. 収録開始	9
5. 収録停止	9
6. 再生 / STILL(一時停止) / 停止	10
7. 早送り (FF)/巻き戻し (REW)	11
8. Variable 再生	11
9. フレーム送り・戻し	12
10. 追っかけ再生	12
11. 収録ポイントの即時再生(※仕様検討中)	13
12. 録画しながら別のシーンを再生	14
13. エラーメッセージのクリア	14
14. LCD表示の切り替え	15
15. 強制リブート	15
16. IMPORT・EXPORT(※仕様検討中)	16
17. 本体メニュー操作	17
1.) メニューの表示方法	17
2.) ADMIN MENU の表示方法	17
3.) 選択操作について	17
4.) 主なメニュー設定とその操作	18
1) REF 設定	18
2) REC モード設定	18
3) タイムコード設定	18
4) HD-OSD 表示設定	19
5) SYSTEM PHASE の設定	19
6) コンプレス	19
7) FORMAT	19
8) Cue Up TC の検索方法の変更	20
9) 422 からの STOP 動作の設定	20
10) 422 からの収録ポイントの即時呼び出し(※仕様検討中)	20
11) 422-2 からの収録操作	21
12) 再生中の 422-2 からの収録 TC Mark	21
5.) USER MENU	22
5.) - 1 USER MENU - SYSTEM	22
5.) - 1. - 1 USER MENU - SYSTEM - CONTROL INTERFACE	23
5.) - 1. - 2 USER MENU - SYSTEM - HD OSD DISPLAY 1	23
5.) - 1. - 3 USER MENU - SYSTEM - HD OSD DISPLAY 2	24
5.) - 1. - 4 USER MENU - SYSTEM - HD OSD DISPLAY 3	24

5.) - 1. - 5	USER MENU - SYSTEM - IP ADDRESS.....	25
5.) - 1. - 6	USER MENU - SYSTEM - MONITOR OUTPUT.....	25
5.) - 1. - 7	USER MENU - SYSTEM - SYNC TYPE.....	26
5.) - 2	USER MENU - AUDIO.....	27
5.) - 2. - 1	USER MENU - AUDIO - HEADPHONE CH.....	27
5.) - 2. - 2	USER MENU - AUDIO - HEADPHONE LEVEL.....	28
5.) - 2. - 3	USER MENU - AUDIO - LIP SYNC CH-A / LIP SYNC CH-B.....	28
5.) - 2. - 4	USER MENU - AUDIO - MUTE SOUND.....	29
5.) - 3	USER MENU - REC MODE.....	30
5.) - 3. - 1	USER MENU - REC MODE - REC LOOP TIME.....	30
5.) - 3. - 2	USER MENU - REC MODE - REC TYPE.....	31
5.) - 3. - 3	USER MENU - REC MODE - FS NO SDI INPUT.....	31
5.) - 4	USER MENU -PB MODE.....	32
5.) - 4. - 1	USER MENU - PB MODE - CUEUP SCENE.....	32
5.) - 4. - 2	USER MENU - PB MODE - PLAY TYPE 1.....	33
5.) - 4. - 3	USER MENU - PB MODE - PLAY TYPE 2.....	33
5.) - 4. - 4	USER MENU - PB MODE - SYNC PLAY.....	34
5.) - 4. - 5	USER MENU - PB MODE - SYSTEM PHASE.....	35
5.) - 4. - 6	USER MENU - PB MODE - TIME SHIFT MODE.....	35
5.) - 4. - 7	USER MENU - PB MODE - PB FRAME.....	36
5.) - 5	USER MENU -RS422.....	37
5.) - 5. - 1	USER MENU - RS422 - FF/REW MAX SPEED.....	37
5.) - 5. - 2	USER MENU - RS422 - SHUTTLE MAX SPEED.....	38
5.) - 5. - 3	USER MENU - RS422 - JOG SETTING.....	38
5.) - 5. - 4	USER MENU - RS422 - RS422 REC.....	39
5.) - 5. - 5	USER MENU - RS422 - RS422 PB STOP.....	39
5.) - 5. - 6	USER MENU - RS422 - RS422 SCENE JUMP.....	40
5.) - 5. - 7	USER MENU - RS422 - SELECTION ON EE.....	40
5.) - 6	USER MENU - DISK.....	41
5.) - 6. - 1	USER MENU - DISK - COMPRESS.....	41
5.) - 6. - 2	USER MENU - DISK - DELETE ALL.....	42
5.) - 6. - 3	USER MENU - DISK - DELETE SELECT.....	42
5.) - 6. - 4	USER MENU - DISK - FORMAT.....	43
5.) - 7	USER MENU - TIME CODE.....	44
5.) - 7. - 1	USER MENU - TIME CODE - DROP FRAME.....	44
5.) - 7. - 2	USER MENU - TIME CODE - PRESET TIME.....	45
5.) - 7. - 3	USER MENU - TIME CODE - TIME CODE MODE.....	45
5.) - 7. - 4	USER MENU - TIME CODE - TIME CODE OUT.....	46
6.)	ADMIN MENU.....	47
6.) - 1	ADMIN MENU - SYSTEM1.....	47
6.) - 1. - 1	ADMIN MENU - SYSTEM1 - DATE TIME.....	48

6.) - 1. - 2	ADMIN MENU - SYSTEM1 - DIAGNOSTICS.....	48
6.) - 1. - 3	ADMIN MENU - SYSTEM1 - ENABLE DI.....	49
6.) - 1. - 4	ADMIN MENU - SYSTEM1 - ENABLE DO.....	50
6.) - 1. - 5	ADMIN MENU - SYSTEM1 - LCD OSD DISPLAY 1.....	50
6.) - 1. - 6	ADMIN MENU - SYSTEM1 - LCD OSD DISPLAY 1.....	51
6.) - 1. - 7	ADMIN MENU - SYSTEM1 - LCD OSD DISPLAY 2.....	51
6.) - 2	ADMIN MENU - SYSTEM2.....	52
6.) - 2. - 1	ADMIN MENU - SYSTEM2 - PASSWORD.....	52
6.) - 2. - 2	ADMIN MENU - SYSTEM2 - SAVE SETTING.....	53
6.) - 2. - 3	ADMIN MENU - SYSTEM2 - LOAD SETTING.....	53
6.) - 2. - 4	ADMIN MENU - SYSTEM2 - SET DEFAULT.....	54
6.) - 2. - 5	ADMIN MENU - SYSTEM2 - SHOW ERROR LOG.....	54
6.) - 2. - 6	ADMIN MENU - SYSTEM2 - SHOW OP LOG.....	55
6.) - 2. - 7	ADMIN MENU - SYSTEM2 - SHOW VERSION.....	55
6.) - 3	ADMIN MENU - SYSTEM3.....	56
6.) - 3. - 1	ADMIN MENU - SYSTEM3 - VIDEO TYPE.....	56
6.) - 3. - 2	ADMIN MENU - SYSTEM3 - CLEAR LOG.....	57
6.) - 3. - 3	ADMIN MENU - SYSTEM3 - DEVICE TYPE.....	57
6.) - 3. - 4	ADMIN MENU - SYSTEM3 - DOWNLOAD.....	58
6.) - 3. - 5	ADMIN MENU - SYSTEM3 - RECOVERY SETTING.....	58
6.) - 3. - 6	ADMIN MENU - SYSTEM3 - ALWAYS ADMIN.....	59
6.) - 4	ADMIN MENU - AUDIO.....	60
6.) - 4. - 1	ADMIN MENU - AUDIO - AUDIO SOURCE.....	60
6.) - 4. - 2	ADMIN MENU - AUDIO - AUDIO IN LEVEL.....	61
6.) - 4. - 3	ADMIN MENU - AUDIO - AUDIO OUT LEVEL.....	61
6.) - 4. - 4	ADMIN MENU - AUDIO - STANDARD DECIBEL.....	62
6.) - 5	ADMIN MENU - DISK.....	62
6.) - 5. - 1	ADMIN MENU - DISK - LOCK DELETE.....	63
6.) - 5. - 2	ADMIN MENU - DISK - RECOVER SCENE.....	63

1. 電源投入前の準備


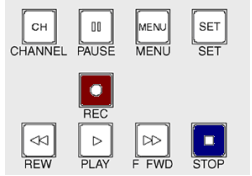
- AC 電源を接続して下さい。
- HD-SDI 入力信号を接続して下さい。
- BB 同期信号を接続して下さい。

VDRH-8000 には、FS 機能は搭載していません。
BB 同期で使用する場合は、同期した映像を入力して下さい。
非同期入力を使用する場合は、SDI 同期で使用してください。
BB 同期ではご使用になれません。
23. 98psf、24psf でご使用の場合は SDI 同期で使用して下さい。

※アプリケーション PC の接続については、それぞれの資料をご参照下さい。

2. 電源投入

- ① 背面パネルの POWER スイッチを ON にします。
- LCD 画面に次のように表示されます。

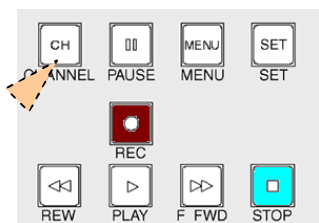
起動状態の表示推移	
フロント LCD 画面 (NTSC)	フロントパネルの操作ボタン
 [オープニングメッセージ]	 フロントパネルの LED が全て点灯します
 [初期化中画面]	 しばらく処理が進むと、フロントパネルが全て消灯します。
 [起動完了/EE 画面]	 STOP ボタンの LED が点灯した状態になります。

※画面は、イメージです。表示内容はバージョンによって多少異なります。

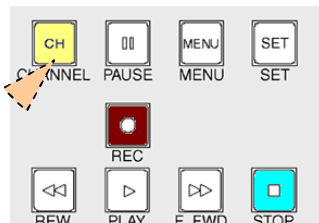
- この状態で、INHIBIT ボタンを消灯させれば操作が可能になります。

3. 電源の切り方

- 電源を切るときは、収録・再生が共に停止していることを確認してください。(CH ボタン押下で Ch 切り替え)



※Ach 停止状態のフロントパネル



※Bch 停止状態のフロントパネル

- 背面 POWER スイッチを OFF (o 側) にします。

4. 収録開始

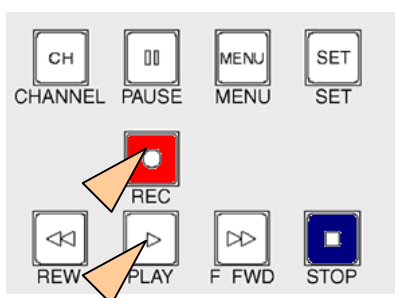
●収録を開始します。収録は、CH-A のみで実行可能な操作です。

- ① CH ボタンを押して消灯状態にします。これで CH-A が選択されています。
(起動直後は、この状態です。)



CH-A の表示になっています。

- ② REC ボタンを押しながら、PLAY ボタンを押すと収録状態になります。

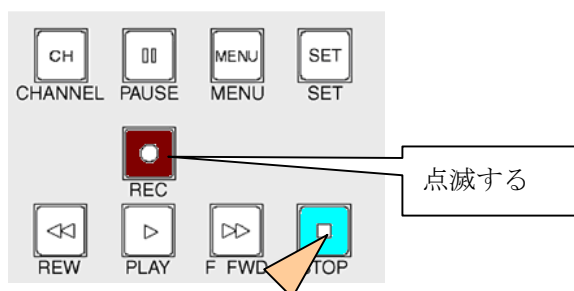


○収録中は、REC ボタンが点灯します。

5. 収録停止

●収録を停止します。

- ① 収録開始時と同様に、CH ボタンを消灯させ CH-A を選択します。
② STOP ボタンを押します。



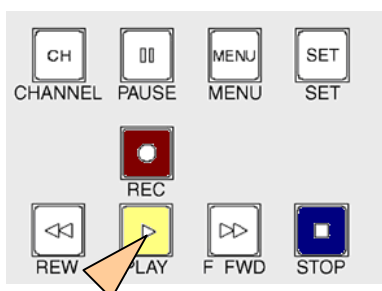
○REC LED が点滅後消灯し、STOP ボタンが点灯します。

○LCD のシーン番号が 1 つ増えます。

6. 再生 / STILL(一時停止) / 停止

●再生をします。(通常再生・追っかけ再生とも、操作に違いはありません。)

- ① CH ボタンを押して、再生させたい CH に切り替えます。(CH ボタン消灯で CH-A、点灯で CH-B)
- ② PLAY ボタンを押します。

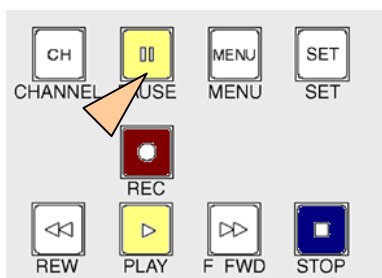


○PLAY ボタンが点灯します。

※再生開始点は、「USER MENU⇒PB MODE⇒PLAY TYPE2」の設定や、CH-A の状態によって異なります。

●再生を一時停止します。(通常再生・追っかけ再生とも、操作に違いはありません。)

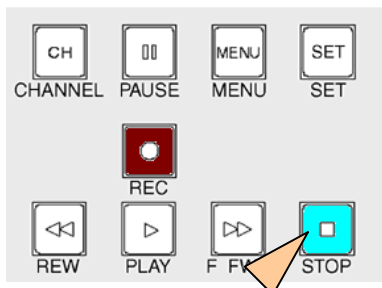
- ① PAUSE ボタンを押します。



○PAUSE ボタンが点灯して、再生が一時停止します。この状態で PLAY を押すと、再び、再生を始めます。

●再生を停止します。(通常再生・追っかけ再生とも、操作に違いはありません。)

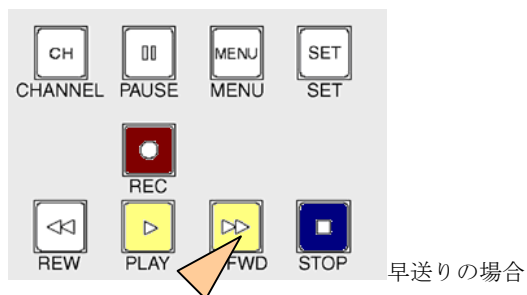
- ① STOP ボタンを押します。(STILL 状態からも同様です。)



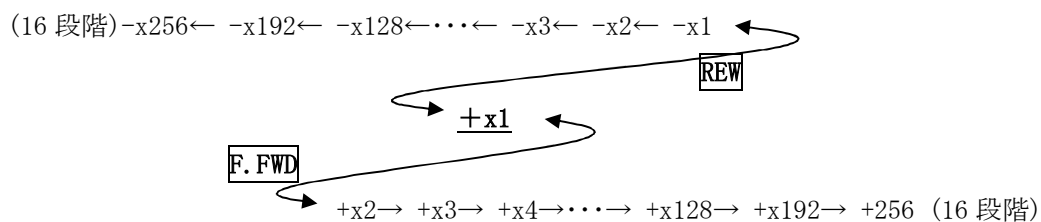
○PLAY ボタンが消灯し、STOP ボタンが点灯します。

7. 早送り (FF)/巻き戻し (REW)

- ① PLAY 中に、F.FWD/REW ボタンを押すと早送り/巻き戻しができます



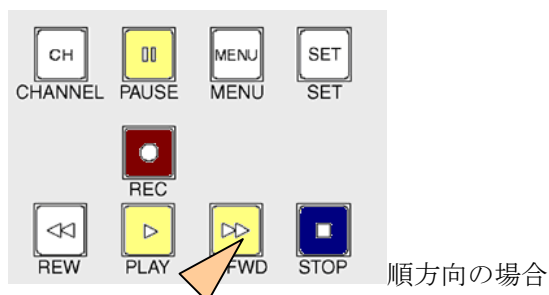
○それぞれの操作により、



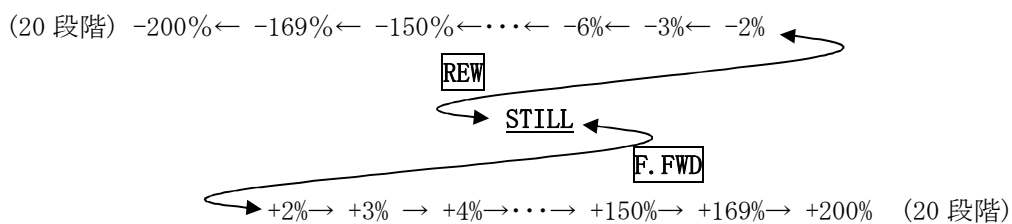
と、再生速度が変化します。

8. Variable 再生

- ① STILL 中に、順方向の場合 VAR+ボタンを押します。 逆方向の場合 VAR-ボタンを押します。



○それぞれの操作により、



と、再生速度が変化します。

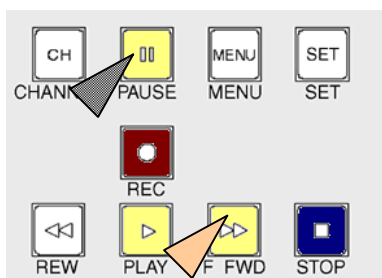
なお、x1 再生中にはPLAYを押しながらF.FWD/REWボタンを押すとVariable再生モードに入ります。

その後、PLAYを押さずにF.FWDやREWキーを押すことで、Variableの速度を変化させることができます。

9. フレーム送り・戻し

●再生停止状態(STILL)からコマ送り（フレーム送り）ができます。

- ① STILL 状態にします。
- ② PAUSE ボタンを押しながら、F.FWD ボタンで順方向、REW ボタンで逆方向にコマ送りします。

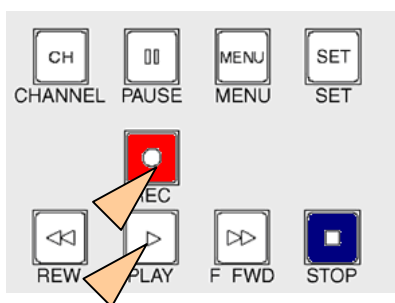


フレーム送りの場合

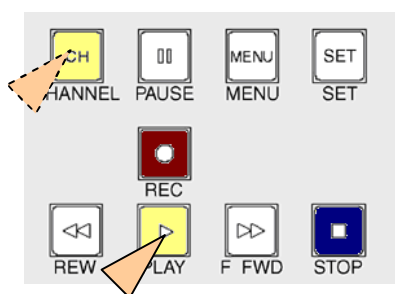
10. 追っかけ再生

●録画中の素材を再生します。

- ① CH-A を選択して、録画を開始します。
- ② CH-B に切り替え(CH ボタンを押して点灯させる)、PLAY ボタンを押します。



CH-A



CH-B

※再生開始点は、「USER MENU⇒PB MODE⇒PLAY TYPE2」の設定によって異なります。

補足) 収録を開始した時に、他のシーンを再生していた場合

再生を停止した後に、シーンを選択する必要があります。

CH-B 選択・再生停止状態で F.FWD ボタンをおして、LCD の SCENE 表示が “REC” になるまで押して下さい。

11. 収録ポイントの即時再生(※仕様検討中)

●収録中シーンの収録ポイントを呼び出して再生します。(最小時差1秒)

① 下記のようにメニュー設定をします。

○USER MENU⇒PB MODE⇒PLAY TYPE2 : REC PNT

; CURRENT = カレントシーンが収録中シーンの場合は収録ポイントを、それ以外のシーンの場合は、最後に停止したポイントを呼び出します(FROM STOP と同様の動作)。

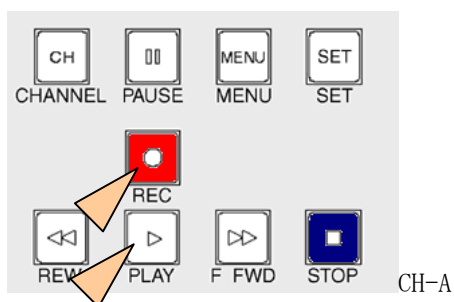
ALL = カレントシーンがどのシーンでも、収録中シーンの収録ポイントを呼び出します。

; OFFSET = 任意の値に設定します。

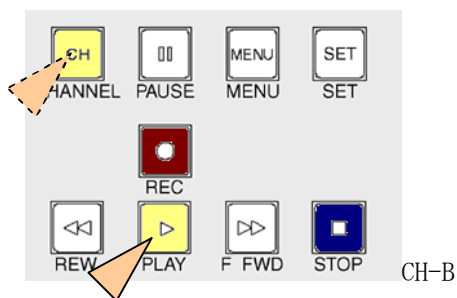
※カレントシーン：最後に再生されたシーン。ただし、収録開始操作直後は、収録中シーンがカレントになります。

○USER MENU⇒PB MODE⇒TIME SHIFT MODE : NORMAL(最小時差1秒設定)/TIME SHIFT(任意の時差値)

② CH-A を選択して、録画を開始します。



③ CH-B に切り替え(CH ボタンを押し点灯させる)、PLAY ボタンを押します。



※STILL 状態から PLAY した場合は、そのポイントから再生します。必ず、停止状態から PLAY 操作をして下さい。

補足) REC PNT の OFFSET 設定について

収録の TC に OFFSET 値を計算した値で頭だしを行ない、再生を開始します。

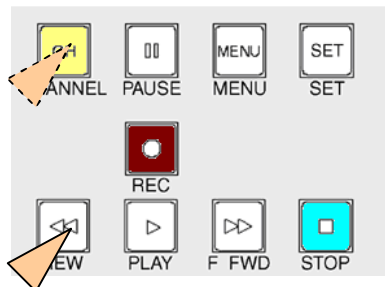
リアクション時間の補正や、簡易的なプリロールとして使用します。

再生開始点の OFFSET 値を設定するもので、再生時差を設定するものではありません。

1 2. 録画しながら別のシーンを再生

●収録中に、収録しているシーン以外を再生します。

- ① CH-A を選択して、録画を開始します。
- ② CH-B に切り替えます。(CH ボタンを押し点灯させる)、
- ③ REW ボタンを押します。



○LCD のシーン No. が戻ります。(戻しすぎた場合は、F. FWD ボタンを押します。)

- ④ PLAY ボタンを押します。
- 選択されたシーンが再生されます。

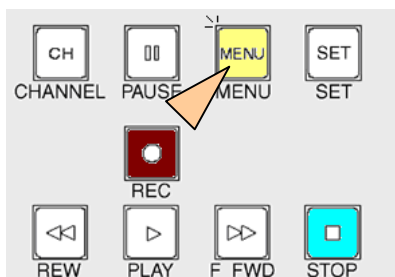
1 3. エラーメッセージのクリア

●本体で発生したエラーメッセージをクリアします。

○VDRH-8000 本体でエラーが発生した場合、LCD か HD-SDI MONI OUT に、エラーメッセージが表示されます。



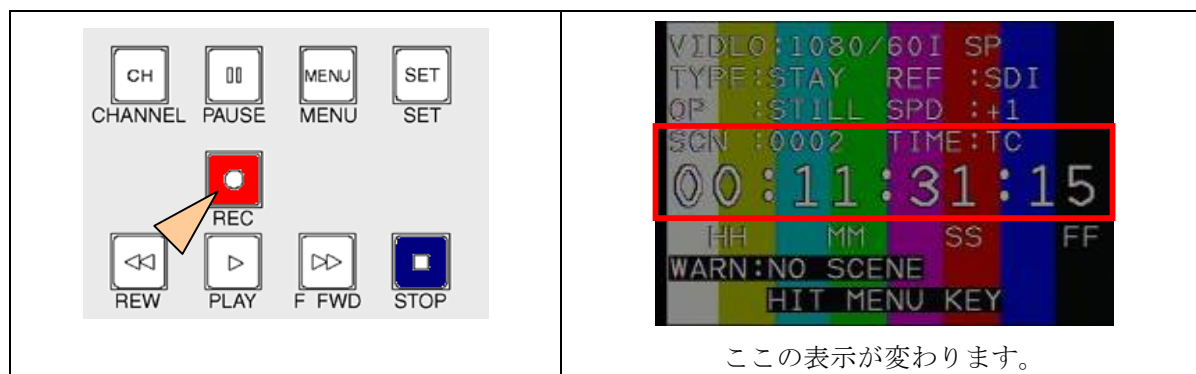
点滅している MENU ボタンを押します。



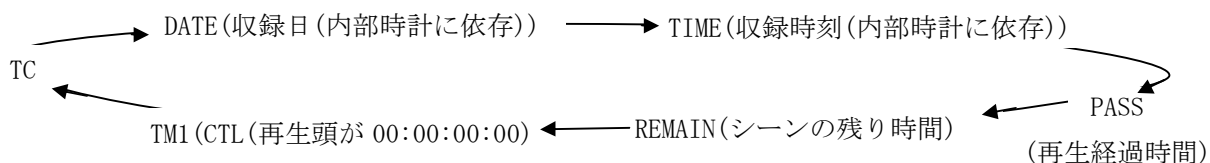
○複数のエラーが同時に発生している、一つをクリアすると、再度、別のメッセージが表示されます。

14. LCD表示の切り替え

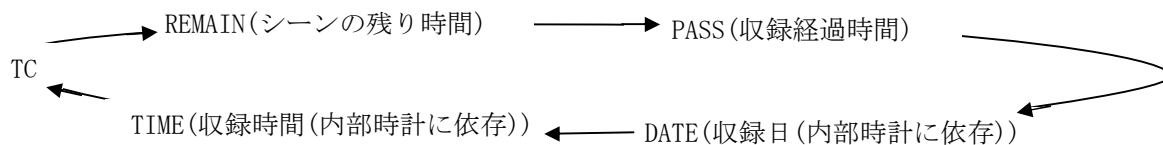
●本体LCDの表示をFULLにしている場合、ディスクの残量や再生リメインなどを確認することが出来ます。



再生中の場合：再生中に REC ボタンを押す。



収録中の場合：収録中に Ch-A 選択

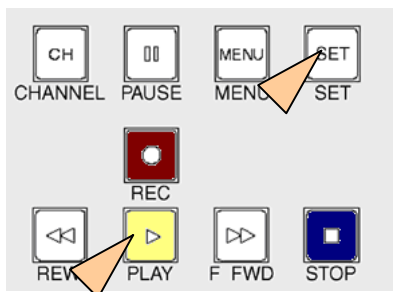


上記のサイクルで順に表示が切り替わります。

15. 強制リブート

●再生側で送出映像に異常があった場合、強制リブートによりデコーダーのリセットをかけます。

① 再生中に、SET ボタン+PLAY ボタンを押します。



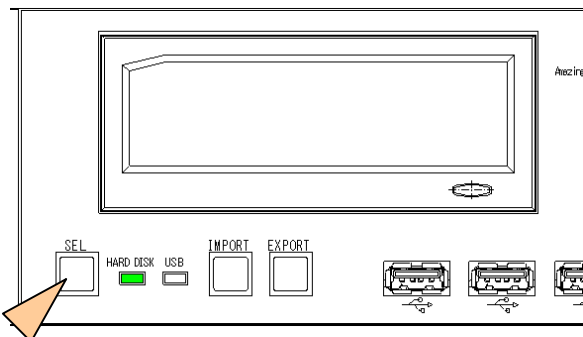
○再生側で強制リブートがかかり、送出映像が 1～2 秒乱れます。

○リブートが完了すると、そのまま再生を続けます。

16. IMPORT・EXPORT

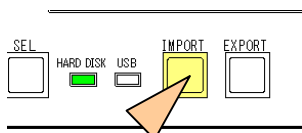
●RDX 規格のディスクメディアやU S B 記録メディアを使用し、本体内部のデータを EXPORT して別の VDRH-8000 に移動したら、別の VDRH-8000 のデータを当機に IMPORT したり出来ます。

- ① 外部メディアを接続・挿入します。
- ② SEL ボタンを押し、使用する外部メディアを選択します。



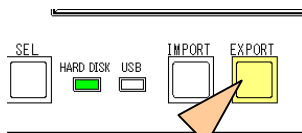
○SEL を押す度に、HARD DISK⇔USB が切り替わります。

- ③
≪IMPORT の場合≫IMPORT ボタンを押します。



○IMPORT ボタンが点灯し、外部メディアにあるシーンを内蔵 HDD にあるシーンの後ろに追加します。

≪EXPORT の場合≫EXPORT ボタンを押します。

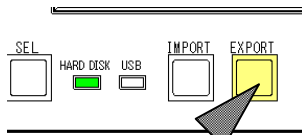


○EXPORT ボタンが点灯し、内蔵 HDD にあるシーンを外部メディアに書き出します。

○EXPORT では、カレントシーン(選択されているシーン)の1シーンのみを書き出し、外部メディアに記録されているデータは書き出し操作の最初に削除されます。

●IMPORT/EXPORT を中断する場合

- ① 点灯している動作中の IMPORT または、EXPORT のボタンを、約1秒ほど長押しして下さい。



○キャンセル処理が開始します。

17. 本体メニュー操作



※画面は一部合成です

1.) メニューの表示方法

KEY INHIBIT が解除された状態で、MENU ボタン を押すとメニューモードになります。

※MENU モードに入ると、基本動作に関する操作が全て不能になります。

○USER MENU => ユーザーで設定する内容です。

○ADMIN MENU => システム構築に関するメニューです。

○個体のシリアル番号が表示されます。

2.) ADMIN MENU の表示方法

「ADMIN MENU⇒SYSTEM3⇒ALWAYS ADMIN」を“OFF”に変更した状態で電源を切ってしまうと、次回以降の起動時には、ADMIN MENU が表示されません。

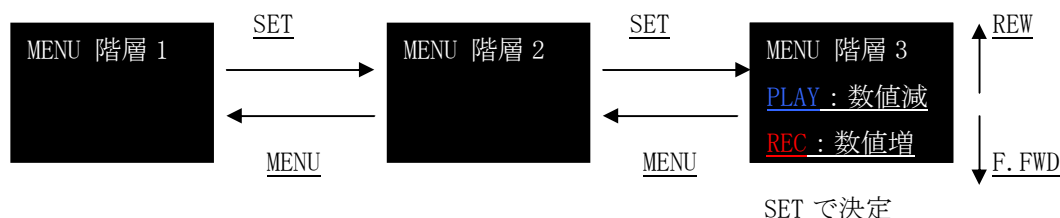
ADMIN MENU を呼び出すには、フロントパネルの任意の **3つのキーを押したまま、本体を起動し**、起動が完了するまで押し続けて下さい。

ADMIN MENU を呼び出して本体を起動した場合、本体を再起動するまで、非表示にすることは出来ません。

3.) 選択操作について

●プロンプトの下(もしくは左)移動は F.FWD キー、上(もしくは右)移動は REW キー 選択したモードに入るのは SET キー、上の階層に戻るのは、MENU キーで行います。最下層での決定は SET キーで行います。

数値の増減設定のあるメニューでは、REC キーで数値増、PLAY キーで数値減します。



●メニューモードを抜けるには、MENU の TOP 画面で MENU ボタンを押します。

●PLAY 及び REC 動作中には、変更できないメニューや表示されないメニューがあります。

4.) 主なメニュー設定とその操作

1) REF 設定

REF 信号を選択します。

「USER MENU⇒SYSTEM⇒SYNC TYPE」から設定して下さい。

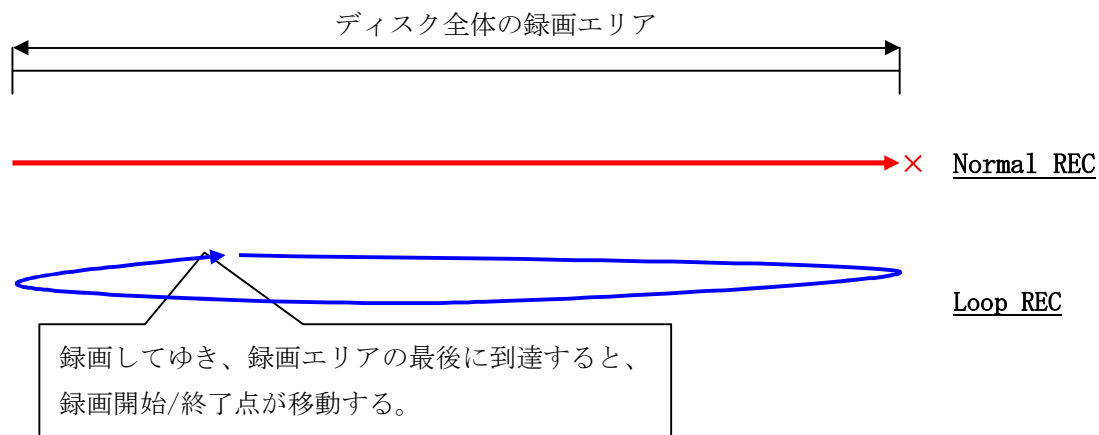
2) REC モード設定

VDRH シリーズでは、収録モードを Normal REC と Loop REC のどちらかを選択できます。

Normal REC とは、ディスクの容量がいっぱいになると収録を停止するモードです。

Loop REC とは、任意の時間※分を録画して一杯まで記録した後は、古いものから上書きしてゆく収録方法です。

※ディスクの制限容量以上の時間は、設定できません。



「USER MENU⇒REC MODE⇒REC TYPE」から選択できます。

※収録シーンが一つの場合のイメージです。先に収録されたシーンが存在する場合は、残り時間分しか記録されません。

※VDRH シリーズの場合、ディスク残量が 24 時間以上ある場合でも、24 時間以上のシーンは作れません。

3) タイムコード設定

TIME CODE の外部 TC/内部 TC モードを切り替えます。

内部 TC モードには INTERNAL/FREERUN/REC RUN があります。

外部 TC モードには EXTERNAL/SDI VITC/SDI LTC があります。

FREERUN/REC RUN の場合に、ドロップフレーム/ノンドロップフレームを切り変えます。

FREERUN/REC RUN の場合の PRESET TIME を設定します。

「USER MENU⇒TIME CODE⇒・・・」から設定して下さい。

<FREERUN/REC RUN の PRESET 方法>

「USER MENU⇒TIME CODE⇒PRESET TIME」から設定します。

数字が表示されているところに、任意の TC を入力し(入力方法は、前頁をご覧ください。)、 “SET” にプロンプトを合わせて SET キーを押下します。

<Internal の PRESET 方法>

INTERNAL モードの TC は、本機内部時計 (REAL TIME CLOCK) を使用しています。従って、内部時計の年月日と時刻で変更 (プリセット) します。

「ADMIN MENU⇒SYSTEM 1⇒DATE TIME」から VDRH の内部時計を設定します。

「USER MENU⇒TIME CODE⇒TIME CODE MODE」を、“Internal” に設定します。

(先に “Internal” になっていた場合、一度別のモードを選択 (プロンプトを合わせて SET 押下) した後、再度 “Internal” に設定して下さい。)

この時計は、ログの時間としても使用していますので、本体の設置直後に設定し、その後は、変更されないことを推奨します。

4) HD-OSD 表示設定

MONI OUT に表示される内容を設定します。

表示 CH (EACH/BOTH) の切り替えや、大きさ、位置などもこのメニューから設定します。

「USER MENU⇒SYSTEM⇒HD OSD DISPLAY #」から設定して下さい。

5) SYSTEM PHASE の設定

SYSTEM PHASE をライン単位・クロック単位で調整できます。

「USER MENU⇒PB MODE⇒SYSTEM PAHSE」から設定して下さい。

6) コンプレス

シーン単位で収録素材を削除し、その領域を新たな収録用の空き領域にするための操作です。

「USER MENU⇒DISK⇒DELETE SELECT」から、不要なシーンを選択します。

リストから、REW/F.FWD (カーソル左右移動)・REC/PLAY (カーソル上下移動) でシーン No. を選択し、SET キーの押下で、DELETE フラグのマーク、マーク解除を行います。フラグを立てると、“D” の表示になります。この D マークのあるシーンが、コンプレスの対象となります。

「USER MENU⇒DISK⇒COMPRESS」を実行すると、不要なシーンが削除され、削除した分の記録可能時間が増えます。

※コンプレスは中断できませんので、実行する際は、作業時間に十分ご注意ください。

7) FORMAT

VDRH に記録されている素材を全て削除します。**復旧は出来ません。**

この操作を実施する場合、両 Ch とも停止している必要があります。

「USER MENU⇒DISK⇒FORMAT」を実行して下さい。

8) Cue Up TC の検索方法の変更

422 コントローラなどから、Goto TC をする場合に、指定した TC を、
『先頭から (FROM FIRST) 検索するか』
『最後に再生した (Current) シーンから検索するか』を設定します。
「USER MENU→PB MODE→CUEUP SCENE」で設定できます。

“FROM FIRST” に設定している時、同 TC が複数のシーンに存在する場合、一番シーン番号の小さいものに Cue Up されます。

9) 422 からの STOP 動作の設定

422 コントローラから PB STOP/REC STOP の操作を行った時の動作を、次のように設定することが出来ます。

REC STOP について：

STOP (停止する)

IGNORE (操作を無視する)

PB STOP について：

STILL (一時停止)

STOP (停止する)

「USER MENU→RS422→RS422 REC」 「USER MENU→RS422→RS422 PB STOP」 から設定できます。

10) 422 からの収録ポイントの即時呼び出し(※仕様検討中)

Ach が収録中で Bch が STOP の時、422 系コントローラで再生操作 (PLAY / VAR / JOG / SHUTTLE) をすると、現在の収録ポイントに頭だしすることが出来ます。(設定時は、パネルの PLAY も同様の動作をします)

「USER MENU⇒PB MODE⇒PLAY TYPE2」： REC PNT

； CURRENT = カレントシーンが収録中シーンの場合は収録ポイントを、それ以外のシーンの場合は、最後に停止したポイントと呼び出します (FROM STOP と同様の動作)。

ALL = カレントシーンがどのシーンでも、収録中シーンの収録ポイントと呼び出します。

※カレントシーン：最後に再生されたシーン。ただし、収録開始操作直後は、収録中シーンがカレントになります。

； OFFSET = この数値を設定すると、再生操作を行った収録 TC から、任意のフレーム数分ずらしたポイントと呼び出せます。(-150f (-5s) ~ +30 (+1s) f)

※再生時差を指定するものではありません。

「USER MENU⇒PB MODE⇒TIME SHIFT MODE」： MINIMUM (時差 0.5 秒)

※PLAY 操作をすると 0.5 秒時差で再生されます。そのまま x1 倍速の再生を行った場合、0.5 秒時差を保ち継続することは出来ません。一定の時差を保持したまま連続再生する場合は、1 秒以上の時差が必要になります。

※NORMAL 設定でも動作します。その場合、Cue Up 可能な時差の制限が、収録点から最短 1 秒になります。

11) 422-2 からの収録操作

DNF 社 ST-300 または、武蔵社 MDC-50Tb を使用した場合、Ach(422-1)へコントローラを接続しなくても、収録/収録停止操作を行うことができます。

「USER MENU⇒PB MODE⇒RS422 REC⇒422-2 REC」を“ON”に設定して下さい。

なお、収録開始/収録停止は、各コントローラの収録開始(REC)操作になります。

(収録中に収録開始(REC)操作をすると収録停止になります。)

また、DNF 社 ST-300 を使用した場合、「同メニュー⇒422-2 REC FLG」を“ON”にすると、REC ボタンの収録ステータスが反映されます。

「422-2 REC FLG」を“ON”にするとコントローラによって正常に動作しない場合があります。正常に動作しない場合は、“OFF”でご使用下さい。

12) 再生中の 422-2 からの収録 TC Mark

DNF 社 ST-300 を使用した場合、Bch を停止しなくても、コントローラ上の切り替え操作によって、収録 TC から Cue 点登録を行うことができます。

「USER MENU⇒PB MODE⇒SELECTION ON EE」を、“TCG OUT ON EE”に設定して下さい。

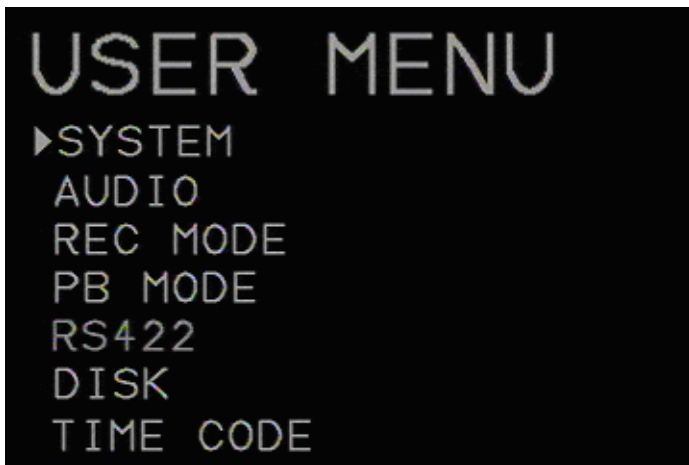
ST-300 の EE ボタンが点灯時は、収録 TC で Cue 点登録を行うことができます。消灯時は、再生 TC になります。

<主なコントローラと VDRH の機能>

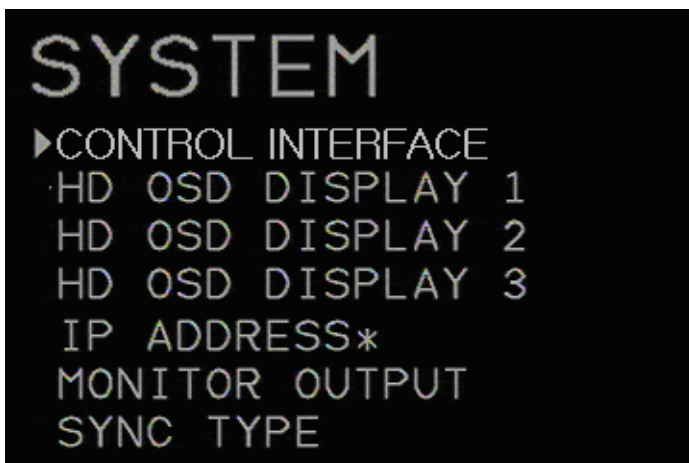
コントローラ 機能	DNF 社 ST-300	武蔵社 MDC-50Tb	SONY 社 DTR-3000
422-2 からの収録操作	可	可	不可
REC FLG の使用	可	不可	不可
収録 TC からの Mark	コントローラの EE 切替え (422 接続は <u>1本</u>) または、Bch を停止する	カップリング機能を使用 し、ポートを切替え (422 接続は <u>2本</u>) または、Bch を停止する	Bch を停止する

5.) USER MENU

●MAIN MENU から USER MENU 選択（プロンプト選択）、SET キー押下で USER MENU になります。



5.) - 1 USER MENU - SYSTEM



5.) - 1. - 1 USER MENU - SYSTEM - CONTROL INTERFACE

- 外部コントロールに使用するポートを選択できます。



○TCP/IP⇒外部コントロールを Ethernet のみで受け付ける設定です。

○RS-422⇒外部コントロールを RS-422 のみで受け付ける設定です。

○BOTH⇒外部コントロールを Ethernet と RS-422 両方から受け付ける設定です。

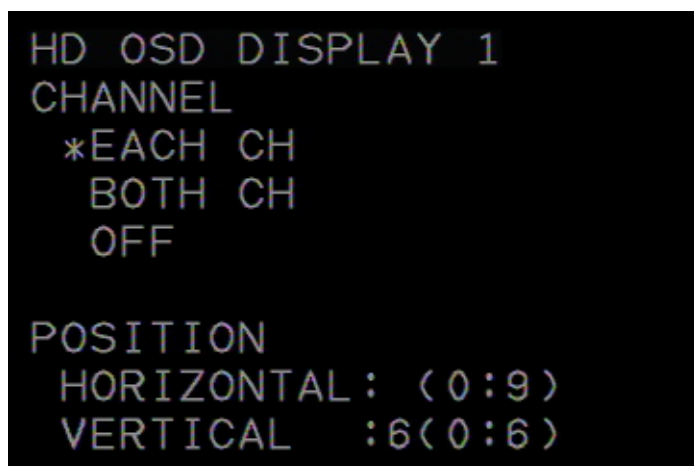
○NONE⇒外部コントロールを使用できません。Ethernet は PING も受け付けません。

後述する「IP ADDRESS」メニューで設定された IP ADDRESS は無視され、設定されません。

※この項目を確定するには、電源の再投入が必要です。

5.) - 1. - 2 USER MENU - SYSTEM - HD OSD DISPLAY 1

- HD SDI (SUPER) 出力の OSD (ON SCREEN DISPLAY) の設定をします。

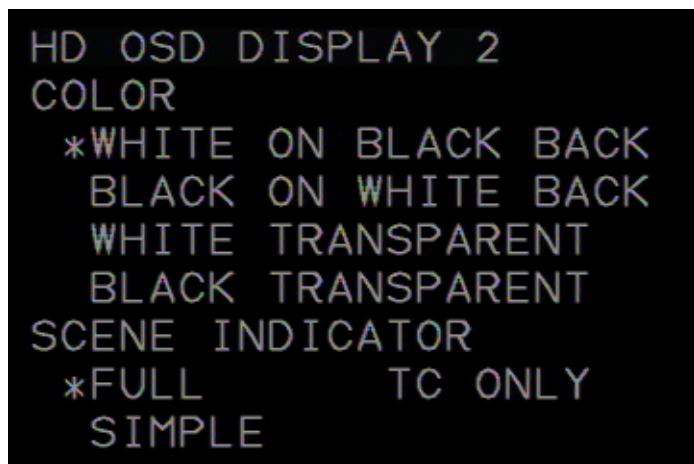


○CHANNEL => 記録、記録再生共、なしの設定です。なしの場合は送出として使用できます。

○POSITION => OSD を出す画面位置を指定します。(0,0)は左上隅です。

5.) - 1. - 3 USER MENU - SYSTEM - HD OSD DISPLAY 2

●HD SDI (SUPER) 出力の OSD (ON SCREEN DISPLAY) の文字、出力レイアウトを設定します。

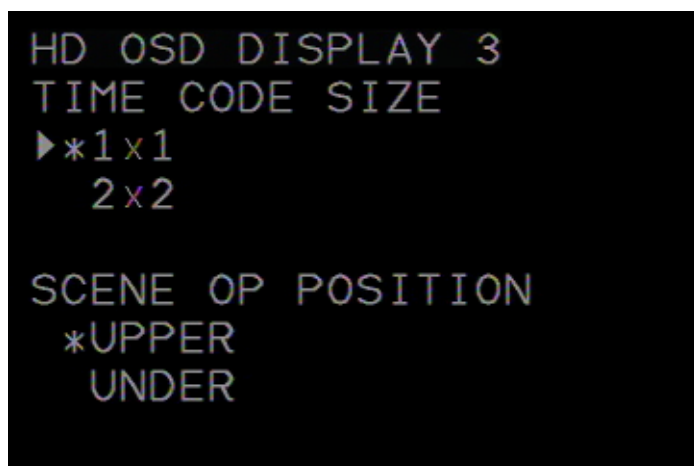


○COLOR => 黒バックに白文字、白バックに黒文字、透過バックで白文字、透過バックで黒文字が選択できます。

○SCENE INDICATOR => 全て、TC のみ、一部だけ表示の選択ができます。

5.) - 1. - 4 USER MENU - SYSTEM - HD OSD DISPLAY 3

●HD SDI (SUPER) 出力の OSD (ON SCREEN DISPLAY) の TC の文字の大きさと、インジケータの位置を設定します。

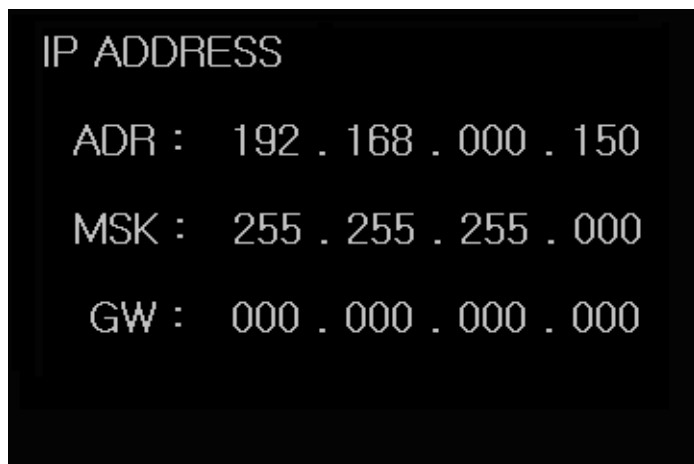


○TIME CODE SIZE => 1×1 : 通常の大きさです。 2×2 : 縦横 2 倍の大きさです。

○SCENE OP POSITION => タイムコードの表示位置の上下を設定します。

5.) - 1. - 5 USER MENU - SYSTEM - IP ADDRESS

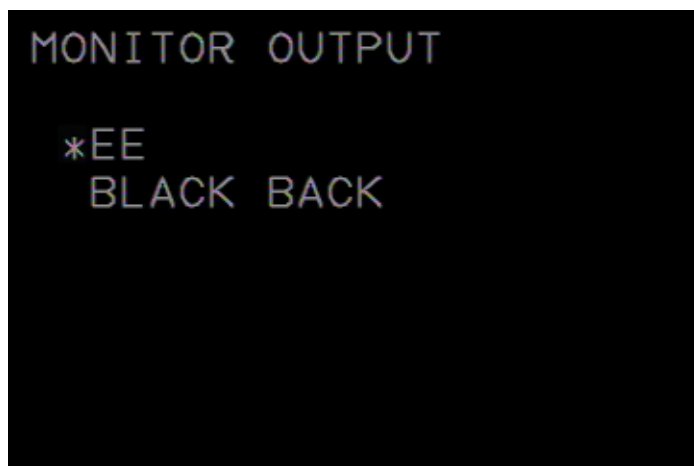
- 本体の IP アドレスを指定します。



- REC キーで数値がインクリメント、PLAY キーで数値がデクリメントします。
- SET キーで確定の後、もう一度 SET を押すと PC の IP 設定のため、Windows が再起動を行います。
MENU キーで押すとキャンセルされます。
- 電源を OFF するメッセージが表示されますので、電源再投入で新しい IP アドレスが有効になります。

5.) - 1. - 6 USER MENU - SYSTEM - MONITOR OUTPUT

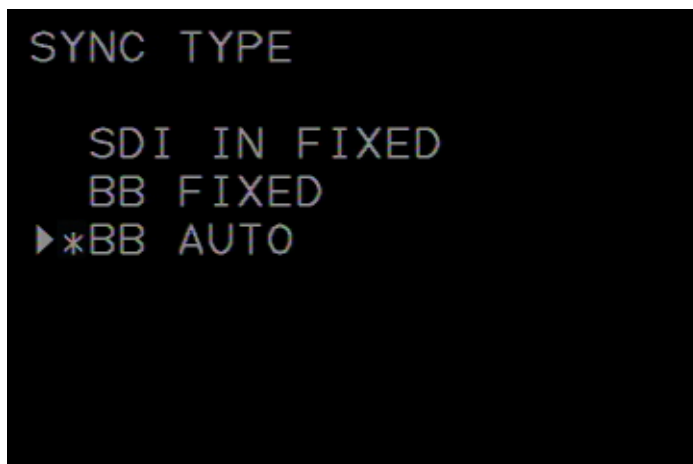
- 本体再生停止時に、HD-SDI OUT に何を出力するかを選択します。



- EE => HD-SDI 入力画像を出力します。
- BLACK BACK => 同相の黒画像を出力します。

5.) - 1. - 7 USER MENU - SYSTEM - SYNC TYPE

●外部リファレンスを選択します。



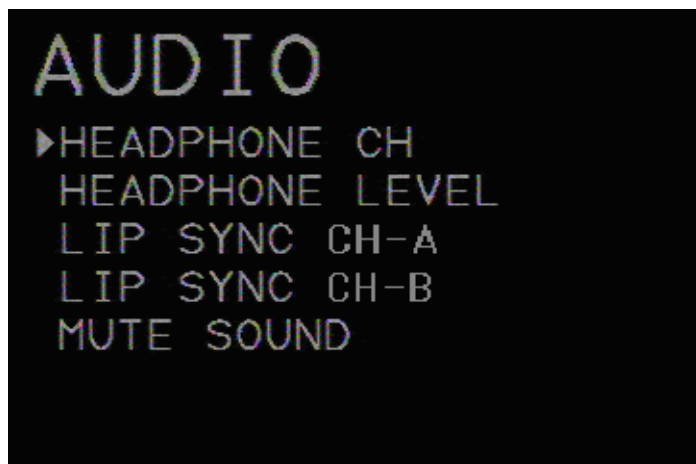
○SDI IN FIXED => 外部同期を持たない機器との接続にお使い下さい。SDI 入力にロックします。

○BB FIXED => BLACK BURST 信号のみにロックします。

○BB AUTO => BLACK BURST→SDI-IN →INTERNAL の順にロックします。

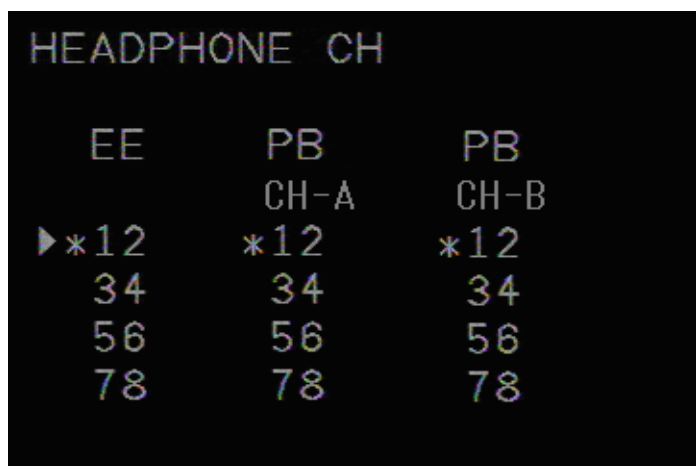
通常はこのモードでお使い下さい。

5.) - 2 USER MENU - AUDIO



5.) - 2. - 1 USER MENU - AUDIO - HEADPHONE CH

●フロントパネルの PHONE 端子にどの音声を出力するかを設定します。

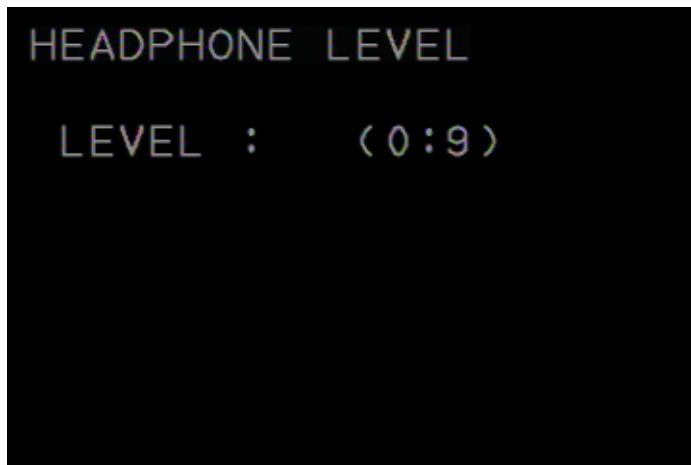


○EE の列 => 再生停止中に、Embedded Audio の 1/2 3/4 5/6 7/8 のいずれかを出力します。

○PB の列 => 再生中に、Embedded Audio の 1/2 3/4 5/6 7/8 のいずれかを出力します。

5.) - 2. - 2 USER MENU - AUDIO - HEADPHONE LEVEL

●HEAD PHONE の出力を設定します。

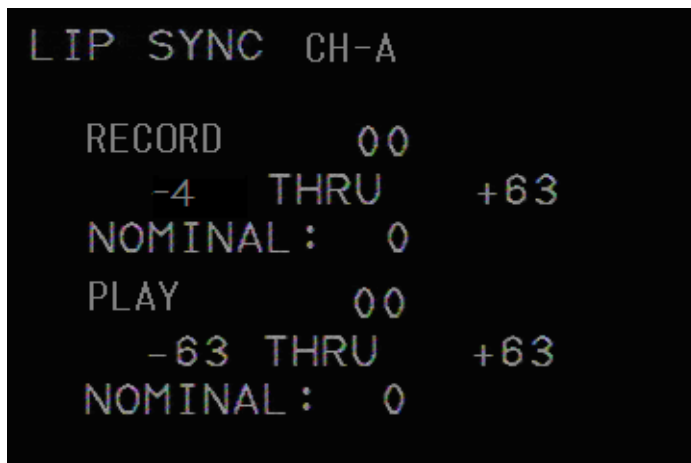


○REC キー(+) PLAY キー(-)で調整します。

※高い数値(5～9)は出力が高いため注意して下さい。

5.) - 2. - 3 USER MENU - AUDIO - LIP SYNC CH-A / LIP SYNC CH-B

●映像と音声の再生時間を調整します。

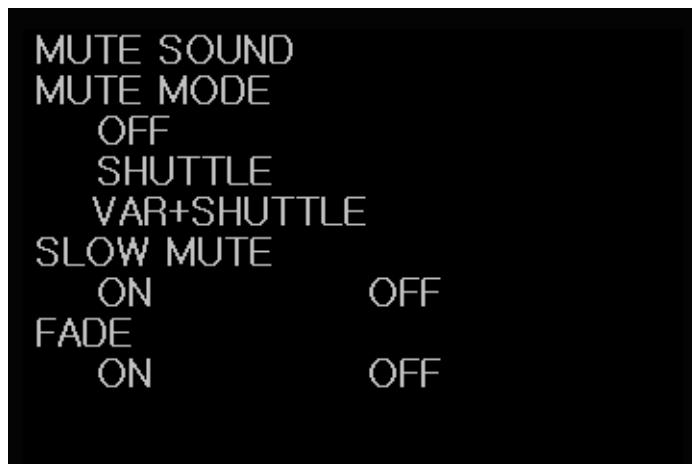


※CH-B は、PLAY 側のみ

○設定単位はフィールドです。1 フィールドは約 16.6msec です。

5.) - 2. - 4 USER MENU - AUDIO - MUTE SOUND

●スロー再生時の音声出力の設定をします。



○MUTE MODE⇒OFF : MUTE しません。 SHUTTLE : SHUTTLE 動作の時は MUTE します。

VAR+SHUTTLE : 全てのスロー動作の時に MUTE します。

○SLOW MUTE⇒ON の場合、MUTE MODE が “VAR+SHUTTLE” 設定以外であっても、±10%以下の速度の時は MUTE します。

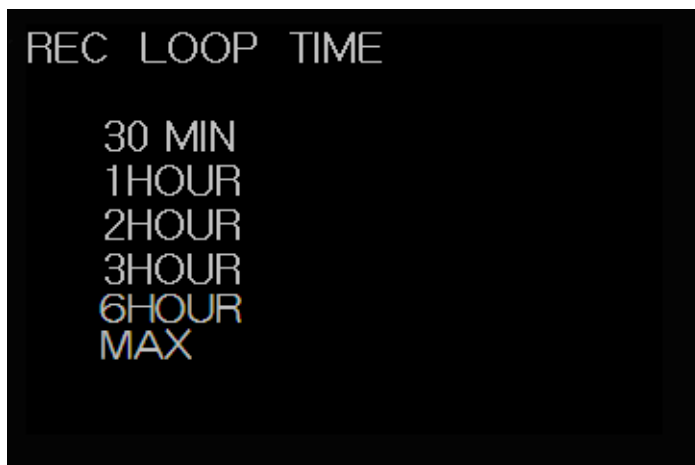
○FADE⇒音の立ち上がりに FADE をかけるかどうかの設定をします。

5.) - 3 USER MENU - REC MODE



5.) - 3. - 1 USER MENU - REC MODE - REC LOOP TIME

●ループ録画の折り返し時間を設定します。

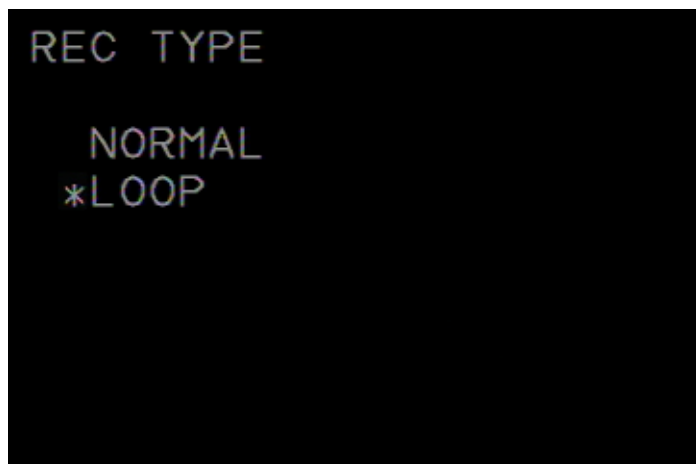


○任意の時間を選択してください。

○VDRH-8000 で MAX に設定した場合に、ディスク残量が 24 時間以上ある場合でも、24 時間で Loop します。

5.) - 3. - 2 USER MENU - REC MODE - REC TYPE

●これから録画するシーンの録画属性を設定します。

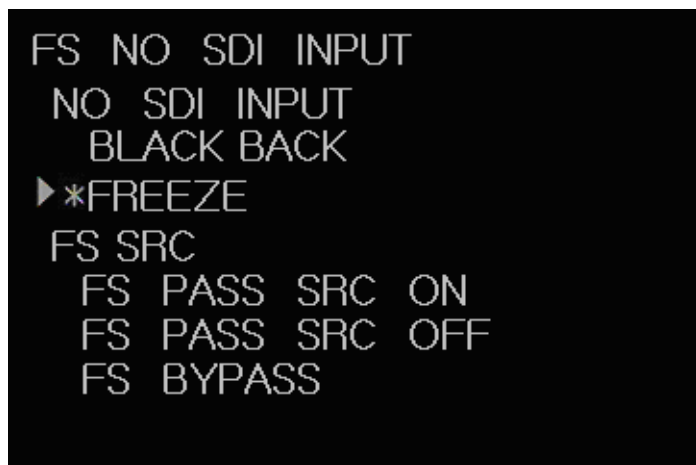


○NORMAL => 通常シーン。始点～終点まで。

○LOOP => REC LOOP TIME で指定された時間でループ録画をします。

5.) - 3. - 3 USER MENU - REC MODE - FS NO SDI INPUT

●入力信号を確認するかを指定します。



○NO SDI INPUT では、FS 搭載機種で SDI が無入力になった場合の FS 出力を選択します。

BLACK BACK : 黒画像を出力します。 FREEZE : 無入力になる直前の画像をホールドして出力します。

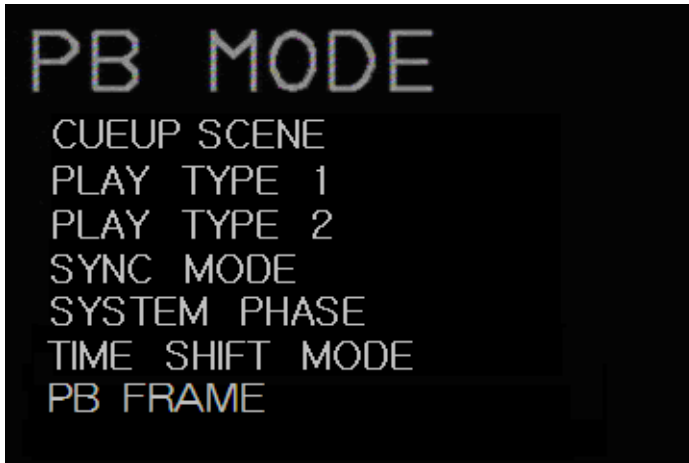
○FS SRC では、FS や SRC (サンプリングレートコンバータ) の BYPASS 設定が出来ます。

FS PASS SRC ON : FS/SRC とも機能します。 FS PASS SRC OFF : FS は機能しますが、SRC は機能しません。

FS BYPASS : FS/SRC とも機能しません。非同期信号の記録は出来ません。

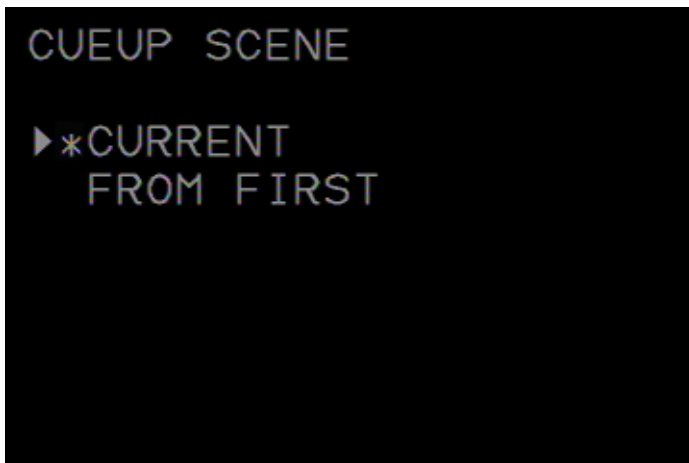
※DOLBY-E 信号を使用する場合は、SRC が機能しないいずれかの設定でご使用下さい。

5.) - 4 USER MENU -PB MODE



5.) - 4. - 1 USER MENU - PB MODE - CUEUP SCENE

●CUE UP 動作をどのように行うかを指定します。

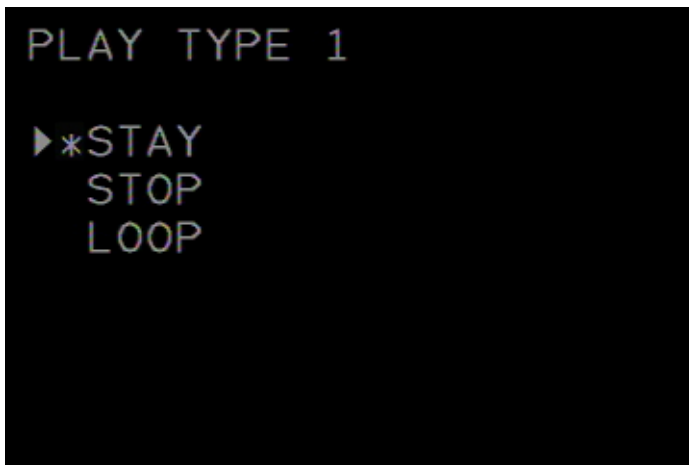


○CURRENT => 最後に再生されたシーンから TC を探して CUE UP します。

○FROM FIRST => 最後に再生されたシーンから TC を検索し、なければシーン 0001 から順に探して、最初に見つけたシーンで CUE UP します。

5.) - 4. - 2 USER MENU - PB MODE - PLAY TYPE 1

●シーン再生時、終端での動作を指定します。



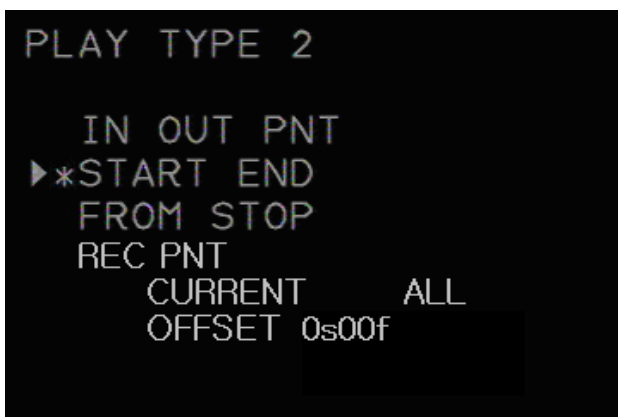
○STAY => STILL します。

○STOP => 停止します。出力は MONITOR OUTPUT で指定します。(EE OR BLACK)

○LOOP => シーンの始めに戻ってシームレスに再生します。

5.) - 4. - 3 USER MENU - PB MODE - PLAY TYPE 2

●シーンの再生開始・終了点を指定します。



○IN OUT PNT => IN 点から OUT 点までを再生します。

(アプリケーションから登録された、そのシーンのクリップ番号 1 番に該当)

○START END => シーン開始点から再生開始し、そのシーンの終端まで再生します。

○FROM STOP => 前回再生停止した地点から再生開始し、そのシーンの終端まで再生します。

シーンを変更した場合は、シーン開始点から再生開始になります。

○REC PNT => Ach が収録中の場合、収録点から再生を開始します。(※仕様検討中)

; CURRENT = カレントシーン(※1)が収録中シーンの場合は収録ポイントを、それ以外のシーンの場合は、最後に停止したポイントと呼び出します(FROM STOP と同様の動作)。

ALL = カレントシーンがどのシーンでも、収録中シーンの収録ポイントと呼び出します。

; OFFSET = この数値を設定すると、操作を行った TC から任意の秒・フレーム数分ずらしたポイントと呼び出せます。(-5s~+0f) (※2)

※1) カレントシーンとは、最後に再生されたシーン。ただし、収録開始操作直後は、収録中シーンがカレントになります。

※2) 再生時差を指定するものではありません。再生開始点を設定するものです。

5.) - 4. - 4 USER MENU - PB MODE - SYNC PLAY

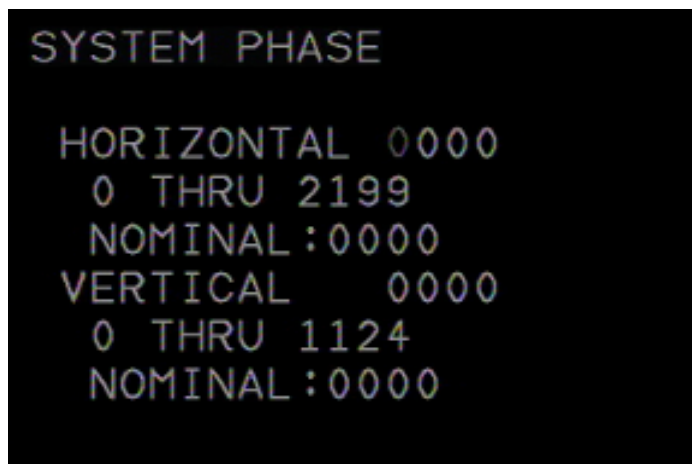
●A チャンネル側で PLAY したときに、B チャンネルも同時に再生を開始(2 チャンネル同期再生) する設定ができます。



○同期再生を行う際には、A チャンネル/B チャンネル共に、再生したいシーンの指定フレームを呼び出しておく必要があります。

5.) - 4. - 5 USER MENU - PB MODE - SYSTEM PHASE

●システムフェーズの設定です。

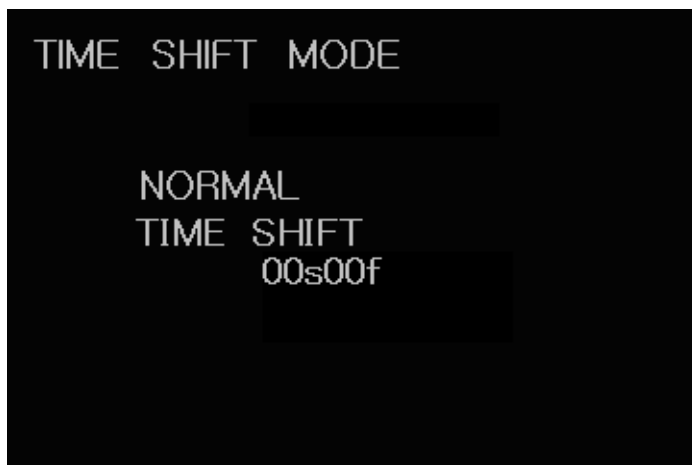


○HORIZONTAL => 水平方向のフェーズを調整します。単位はクロックです。

○VERTICAL => 垂直方向のフェーズを調整します。単位はラインです。

5.) - 4. - 6 USER MENU - PB MODE - TIME SHIFT MODE

●最短の時差の設定をします。

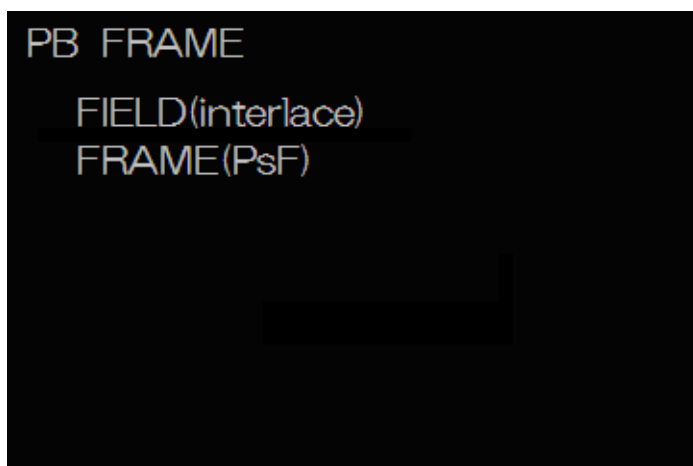


○NORMAL : 最短時差が1秒に制限されます。

○TIME SHIFT : こちらに設定すると、収録の先頭と再生の先頭の最小時差値が指定した任意の値になります。この機能を使う場合、PLAY TYPE 2 の設定を、「REC PNT」に設定する必要があります。(1s~60s(±1f))

5.) - 4. - 7 USER MENU - PB MODE - PB FRAME

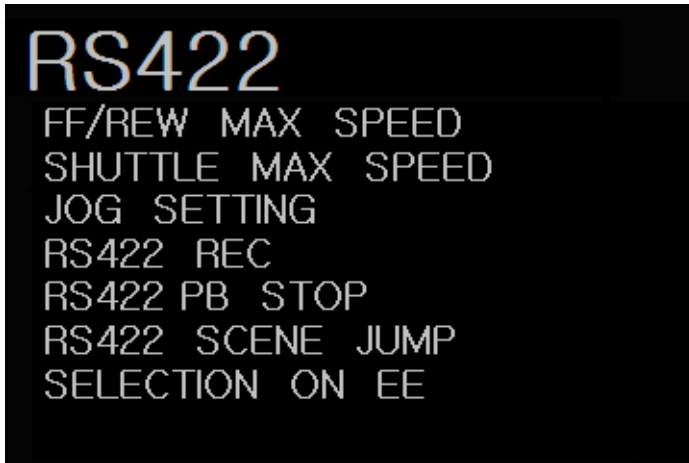
●FIELD 出力/FARME 出力を選択します。



○FIELD : インターレースで出力します。

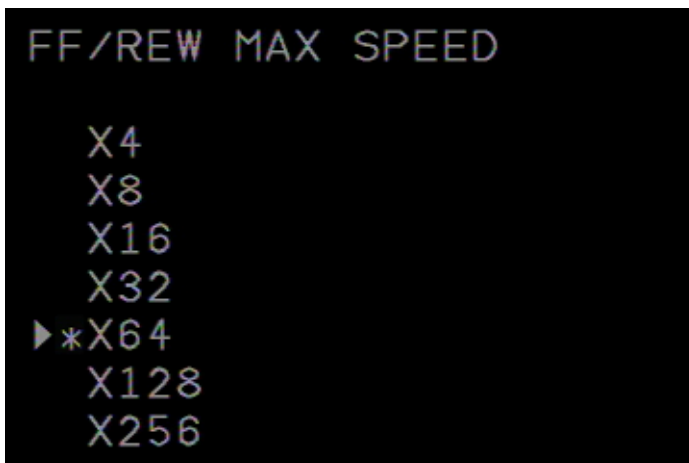
○FRAME : PsF(Progressive segmented Frame)で出力します。

5.) - 5 USER MENU -RS422



5.) - 5. - 1 USER MENU - RS422 - FF/REW MAX SPEED

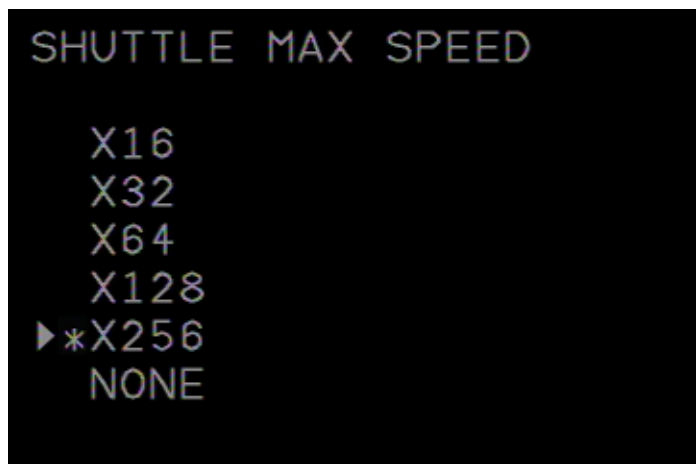
●コントローラから FF REW 命令がきた場合、速度をいくにするかの設定です。



○ディスクシステムでは、高速の早送り、巻き戻しが可能です。

5.) - 5. - 2 USER MENU - RS422 - SHUTTLE MAX SPEED

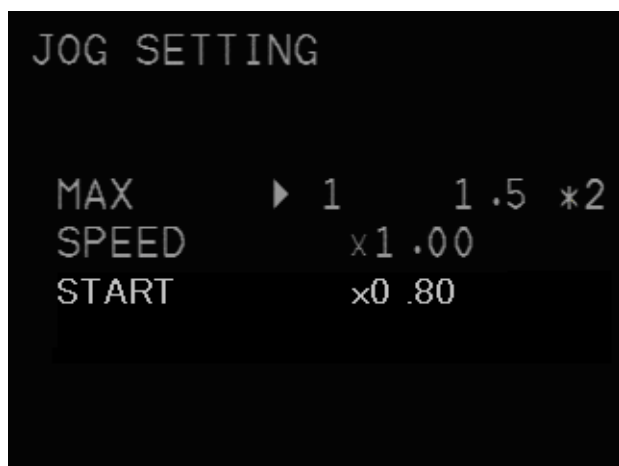
●シャトル操作での最大速度を設定します。



○コントローラから設定以上のスピードが来ても、最大値に貼り付けます。

5.) - 5. - 3 USER MENU - RS422 - JOG SETTING

●ジョグ・スピードの最大値と速度倍率を設定します。



○MAX => コントローラから設定以上のスピードが来ても、最大値に貼り付けます。

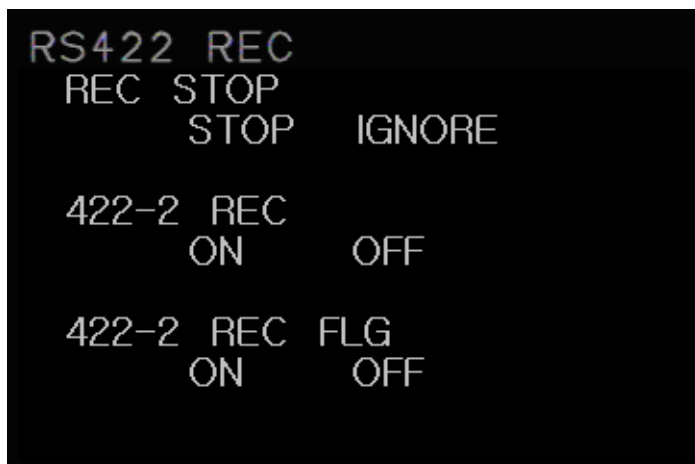
○SPEED => コントローラから送られるジョグのスピードに倍率をかけます。

設定範囲は、x0.3～x9.0 です

○START => STILL 状態から JOG を回し始めるときコントローラから送られるスピードに、この倍率をかけます。設定範囲は、x0.20～x1.20 (0.05Step) です。

5.) - 5. - 4 USER MENU - RS422 - RS422 REC

●コントローラからの収録動作に関する設定です。



○REC STOP => 422-1 に接続されているコントローラから STOP 命令がきた場合に録画を停止するかの設定をします。

○422-2 REC => 422-2 に接続されているコントローラから、REC 開始命令がきた場合に録画を開始/停止します。

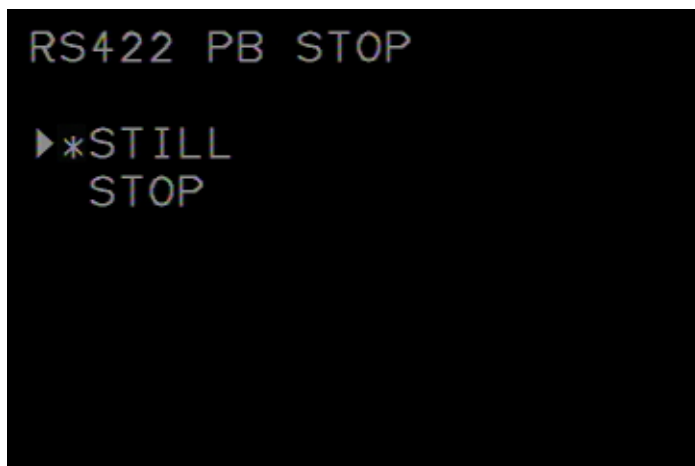
○422-2 REC FLG => 422-2 に接続されているコントローラに、REC ステータスを返すかの設定をします。

※この機能を ON にした場合に、再生動作が正常に機能しない場合があります。

動作確認済みコントローラ : DNF 社 ST-300

5.) - 5. - 5 USER MENU - RS422 - RS422 PB STOP

●422-2(再生チャンネル)で STOP 命令を受けた時の動作設定です。

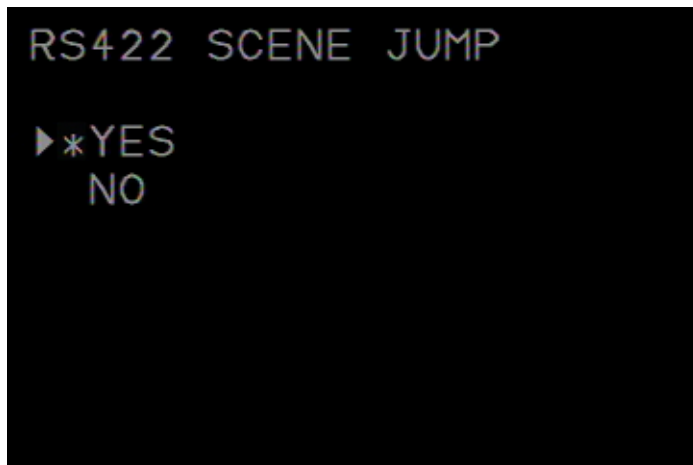


○STILL => 静止状態になります。

○STOP => 停止します。出力は MONITOR OUTPUT で指定します。(EE OR BLACK)

5.) - 5. - 6 USER MENU - RS422 - RS422 SCENE JUMP

●シーン始点で REW、シーン終点で FF を受けた時にシーン移動を許可するかどうかの設定です。

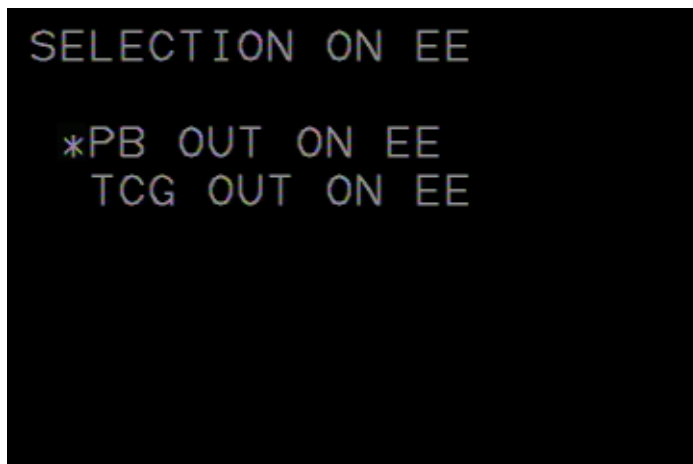


○YES => 使用します。シーン始点で REW を受けると一つ前のシーンの先頭に、シーン終点で FF をうけると次のシーンの先頭に移動(STILL)します。

○NO => 使用しません。

5.) - 5. - 7 USER MENU - RS422 - SELECTION ON EE

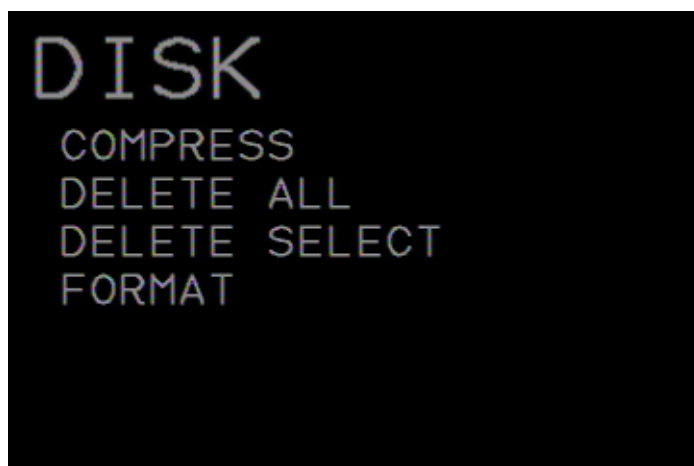
●EE 画面(入力があって、再生が停止している時)TIME CODE に何を出すかの設定。



○PB OUT ON EE => 再生のタイムコードが出力されます。

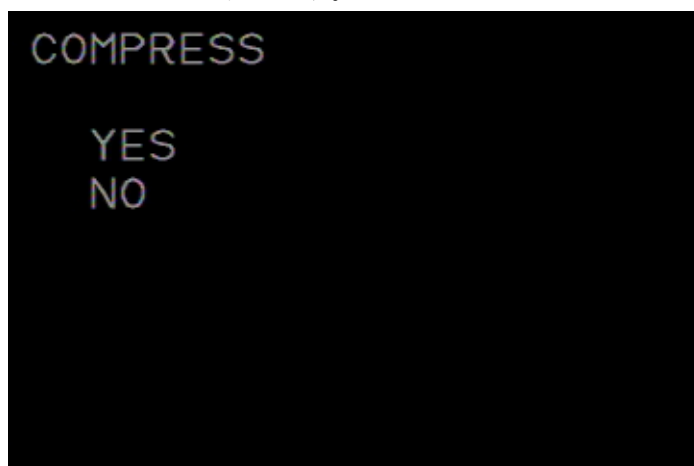
○TCG OUT ON EE => 入力されているタイムコードが出力されます。

5.) - 6 USER MENU - DISK



5.) - 6. - 1 USER MENU - DISK - COMPRESS

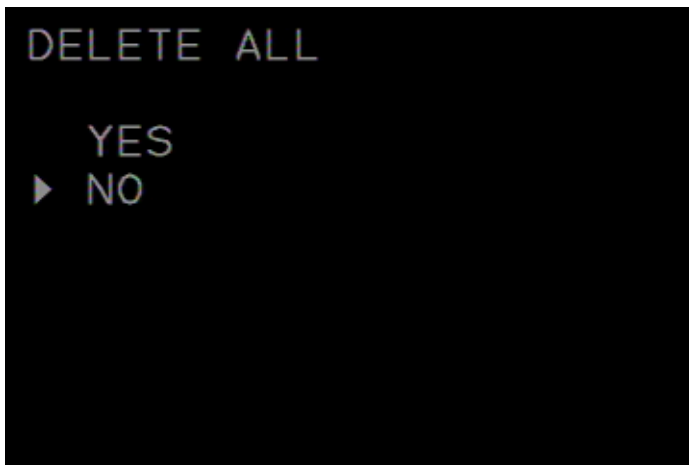
●コンプレスを実行します。



○コンプレスには、移動するシーンの実記録時間の 80%程度の時間を要します。

5.) - 6. - 2 USER MENU - DISK - DELETE ALL

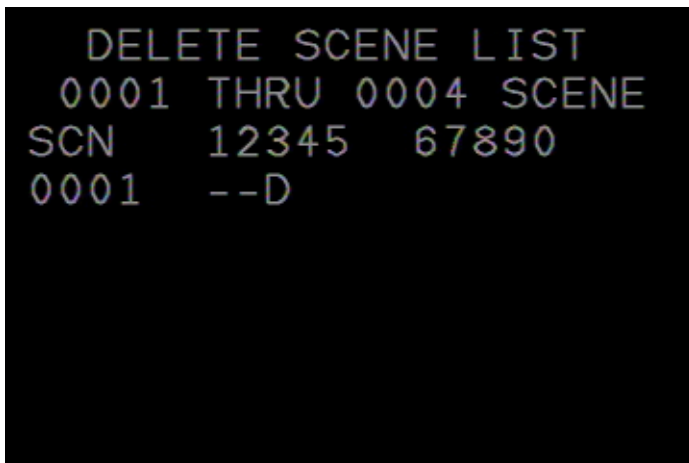
- 現在記録している全てのシーンにデリートマークを付けます。



- 全てのシーンを削除する場合は、本操作を行った後、COMPRESS を実行して下さい。
- 本操作後、DELETE SELECT でデリートマークの解除が行えます。

5.) - 6. - 3 USER MENU - DISK - DELETE SELECT

- 記録されている任意のシーンにデリートマークを付けます。



- REW/F. FWD(カーソル左右移動)・REC/PLAY(カーソル上下移動)でシーンの選択をします。
- SET キー押下でマーク、マーク解除を行います。
- 任意のシーンを削除する場合は、本操作を行った後、COMPRESS を実行して下さい。

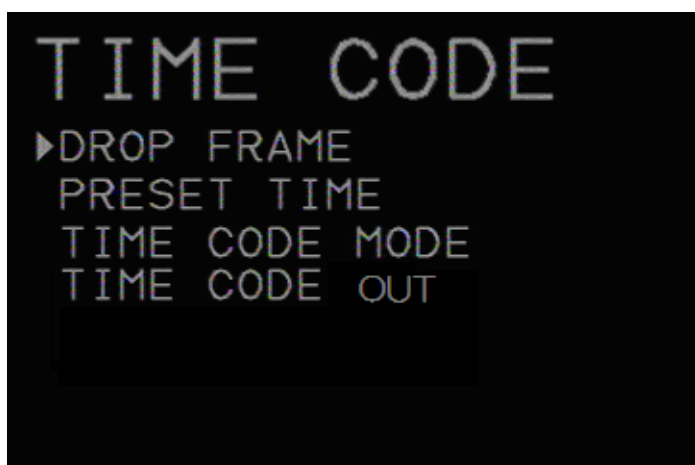
5.) - 6. - 4 USER MENU - DISK - FORMAT

●ディスクをフォーマットします。全ての記録は消去されます。



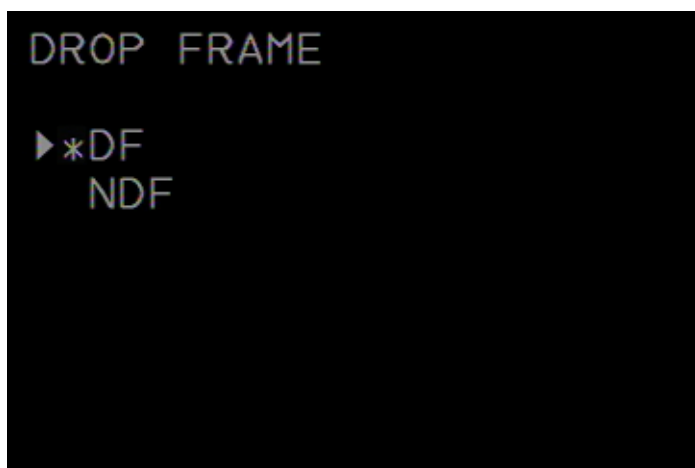
○全ての記録が消去されます。操作は慎重に行ってください。

5.) - 7 USER MENU - TIME CODE



5.) - 7. - 1 USER MENU - TIME CODE - DROP FRAME

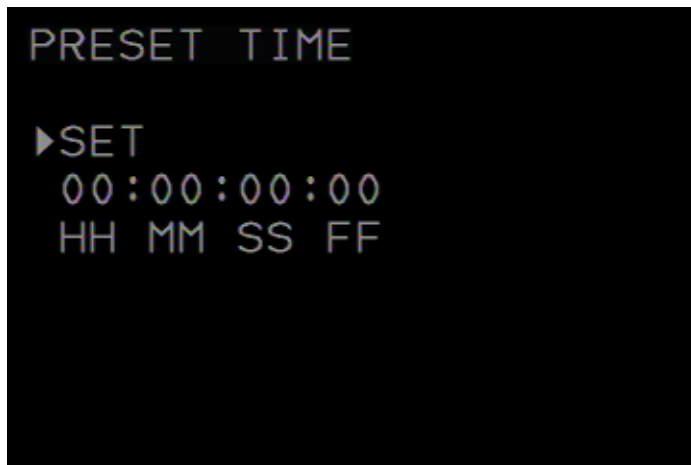
●DROP FRAME 、NNONDROP FRAME の設定を行います。



○設定に基づいて、タイムコードが記録されます。

5.) - 7. - 2 USER MENU - TIME CODE - PRESET TIME

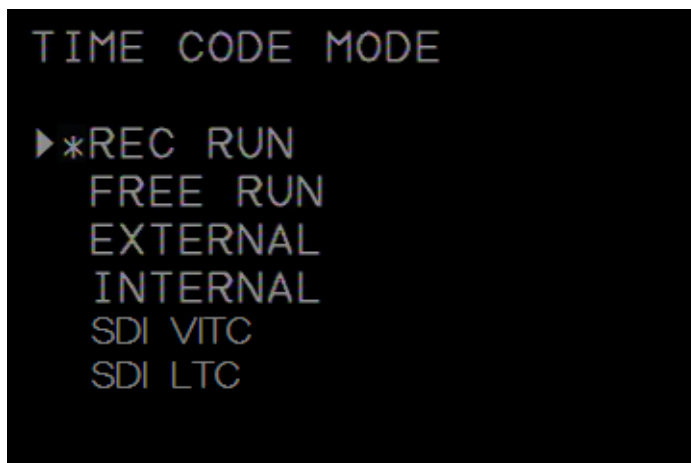
●タイムコードをプリセット（強制的に設定値にする）します。



○TIME CODE MODE が、FREE RUN、REC RUN の場合に有効です。

5.) - 7. - 3 USER MENU - TIME CODE - TIME CODE MODE

●タイムコードモードを選択します。



○REC RUN => プリセット値から、記録している場合のみ積算カウントします。

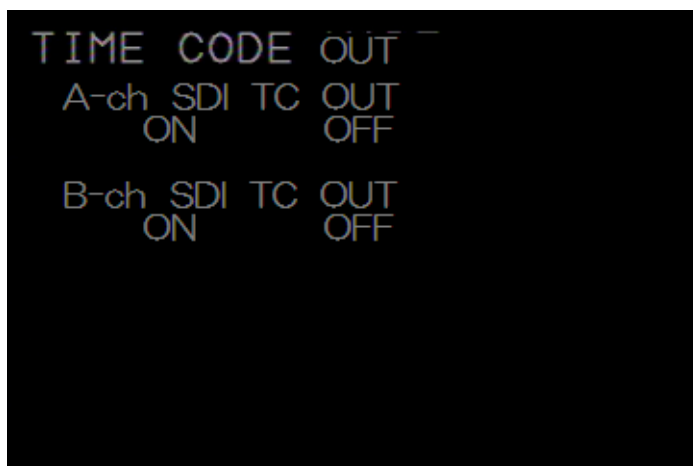
○FREE RUN => プリセット値から、積算カウントします。記録していない時もカウントします。

○EXTERNAL => 外部タイムコードを使用します。

○INTERNAL => 本体内蔵のリアルタイムクロックを使用します。

5.) - 7. - 4 USER MENU - TIME CODE - TIME CODE OUT

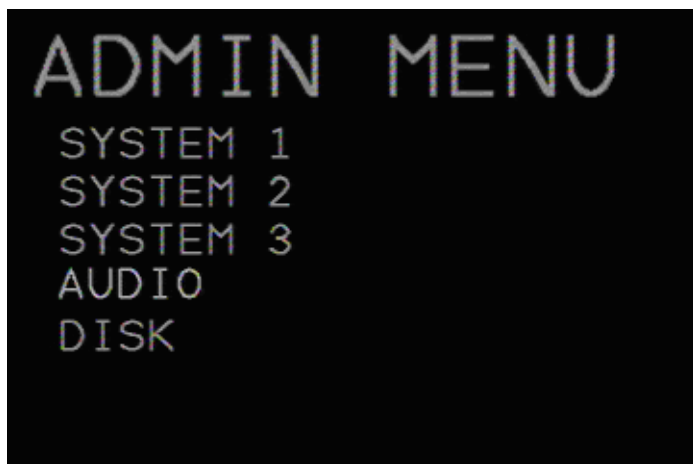
●SDI OUT の信号に TC を重畳するかの設定が出来ます。



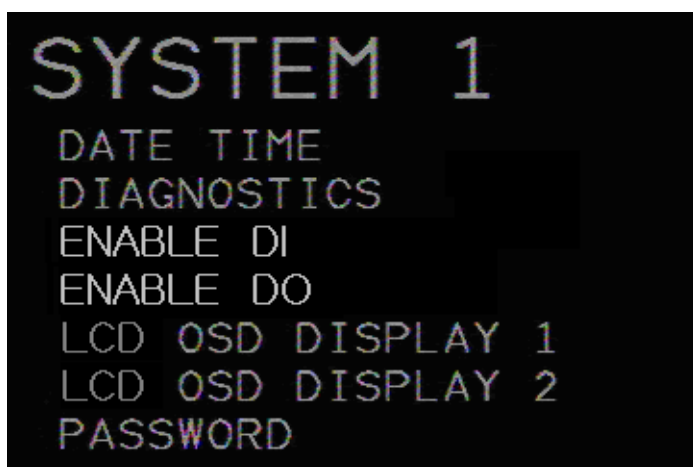
○「ON」に設定すると、各チャンネルの SDI OUT に TC が重畳されて出力されます。

6.) ADMIN MENU

●アドミニストレータ（管理者）専用メニューです。

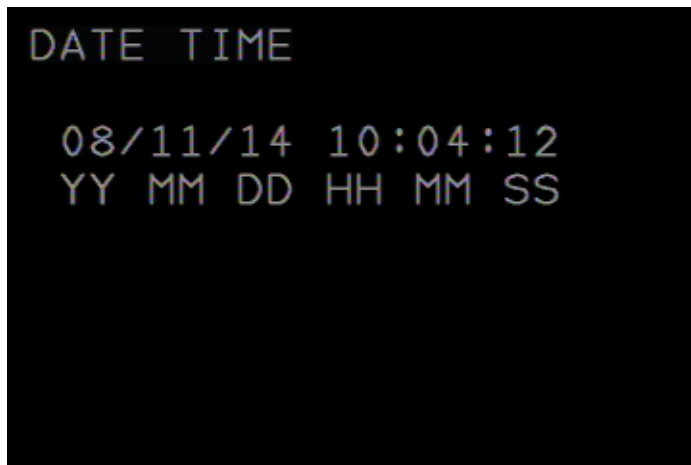


6.) - 1 ADMIN MENU - SYSTEM1



6.) - 1. - 1 ADMIN MENU - SYSTEM1 - DATE TIME

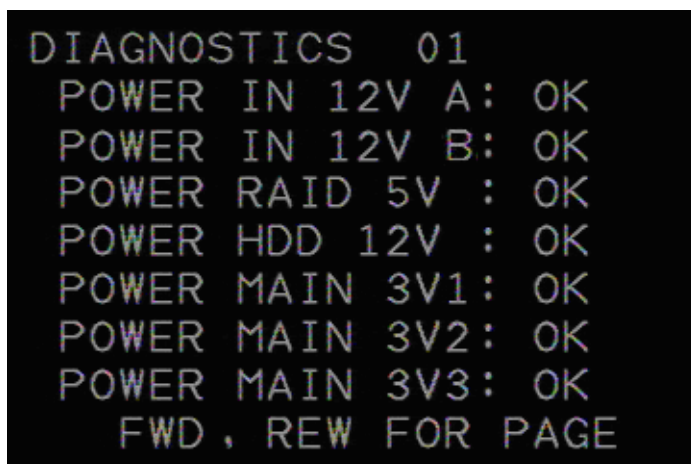
●内蔵リアルタイムクロックを合わせます。



○REC キーで数値+, PLAY キーで数値-です。

6.) - 1. - 2 ADMIN MENU - SYSTEM1 - DIAGNOSTICS

●自己診断の結果表示です。



○電圧、温度、ハードウェアの装着状態、ディスク状態などが表示されます。

6.) - 1. - 3 ADMIN MENU - SYSTEM1 - ENABLE DI

●GPI IN の動作設定をします。



DISABLE : (デフォルト)

DI 端子を使用しない設定です。

A : PLAY B : PLAY

DI-1 端子を、メーク (ON) した時に、A チャンネルが PLAY します。

DI-2 端子を、メーク (ON) した時に、B チャンネルが PLAY します。

B : PLAY B : STILL

DI-1 端子を、メーク (ON) した時に、B チャンネルが PLAY します。

DI-2 端子を、メーク (ON) した時に、B チャンネルが STILL します。

B : PLAY B : STOP

DI-1 端子を、メーク (ON) した時に、B チャンネルが PLAY します。

DI-2 端子を、メーク (ON) した時に、B チャンネルが STOP します。

A : REC A : REC STOP

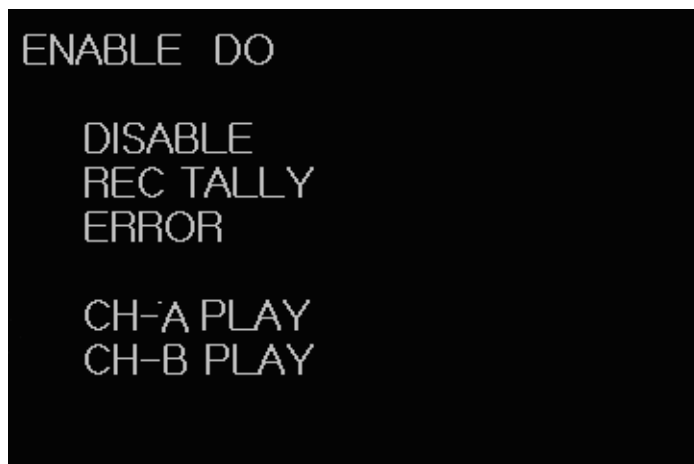
DI-1 端子を、メーク (ON) した時に、A チャンネルが REC START します。

DI-2 端子を、メーク (ON) した時に、A チャンネルの REC STOP します。

※VDRH-8000 では、DI-1 しか持っていません。

6.) - 1. - 4 ADMIN MENU - SYSTEM1 - ENABLE DO

●GPI OUT の動作設定をします。



DISABLE : (デフォルト) DO 端子を使用しない設定です。

REC TALLY : 録画を開始したときに DO 端子が ON になり、録画を停止したときに DO 端子が OFF になる設定です。

ERROR : VDRH-8000 内部で何らかのエラーが発生した際に、ON になる設定ですが、現バージョンでは実装されていません。

CH-A PLAY : Ach が PLAY の時 ON します。

CH-B PLAY : Bch が PLAY の時 ON します。

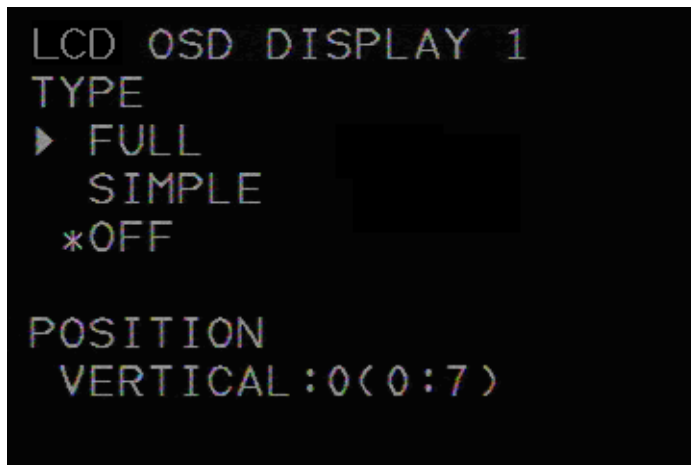
6.) - 1. - 5 ADMIN MENU - SYSTEM1 - LCD OSD DISPLAY 1

●フロントLCDの明るさを設定します。



6.) - 1. - 6 ADMIN MENU - SYSTEM1 - LCD OSD DISPLAY 1

●フロントLCDの表示設定です。



○TYPE FULL => 全ての情報を表示します。

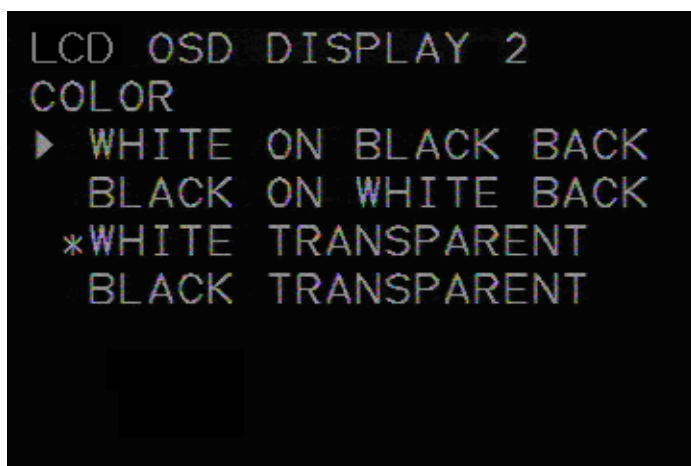
○TYPE SIMPLAE => 再生状態、現在の選択シーン、タイムコードのみ表示します。

○TYPE OFF => 何も表示しません。

○POSITION => 垂直表示位置を調整します。

6.) - 1. - 7 ADMIN MENU - SYSTEM1 - LCD OSD DISPLAY 2

●フロントLCDの表示文字の設定です。



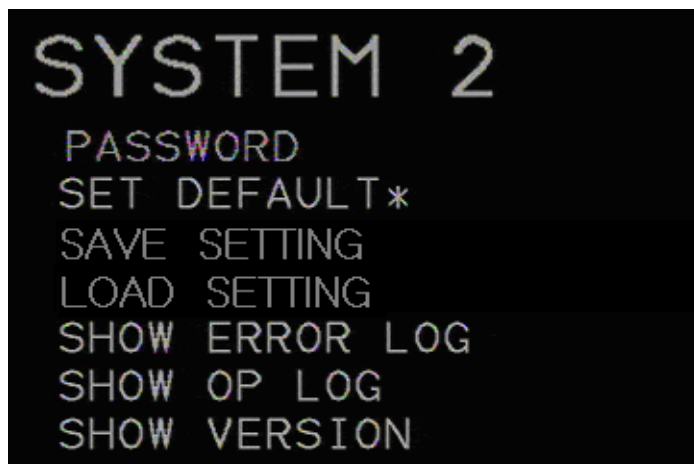
○WHITE ON BLACK BACK => 黒バックに白文字

○BLACK ON WHITE BACK => 白バックに黒文字

○WHITE TRANSPARENT => 白透過文字

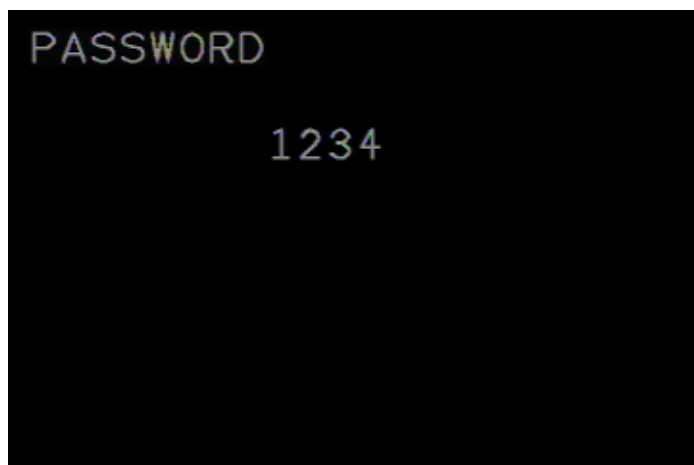
○BLACK TRANSPARENT => 黒透過文字

6.) - 2 ADMIN MENU - SYSTEM2



6.) - 2. - 1 ADMIN MENU - SYSTEM2 - PASSWORD

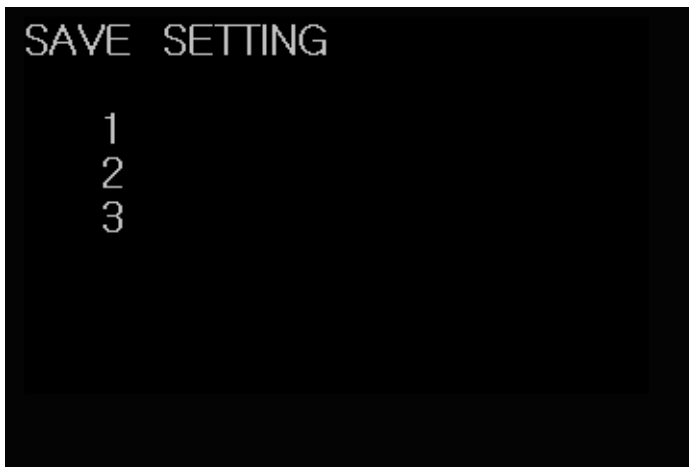
●TCP/IP でアプリケーションと通信をする場合のパスワードを設定します。



○REC キーで数値+、PLAY キーで数値-

6.) - 2. - 2 ADMIN MENU - SYSTEM2 - SAVE SETTING

- 本体のメニュー設定を保存しておきます。3件まで登録できます。



- 保存する番号を選択して、SET キーを押す。

6.) - 2. - 3 ADMIN MENU - SYSTEM2 - LOAD SETTING

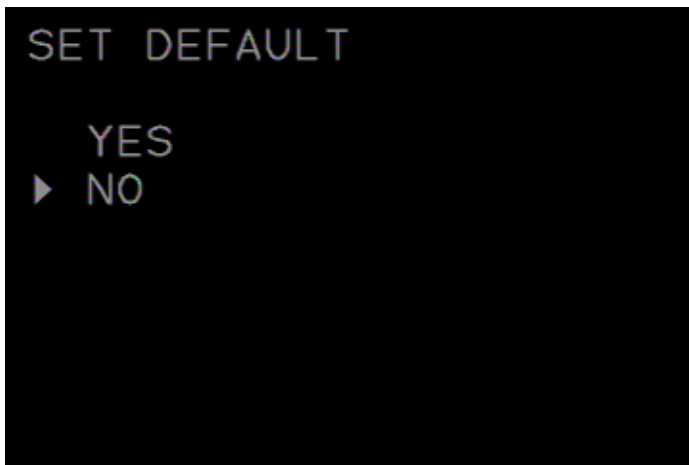
- 「SAVE SETTING」で保存した本体のメニューを呼び出します。



- 呼び出したい番号を選択して、SET キーを押す。
- 選択後は、電源の再投入が必要です。

6.) - 2. - 4 ADMIN MENU - SYSTEM2 - SET DEFAULT

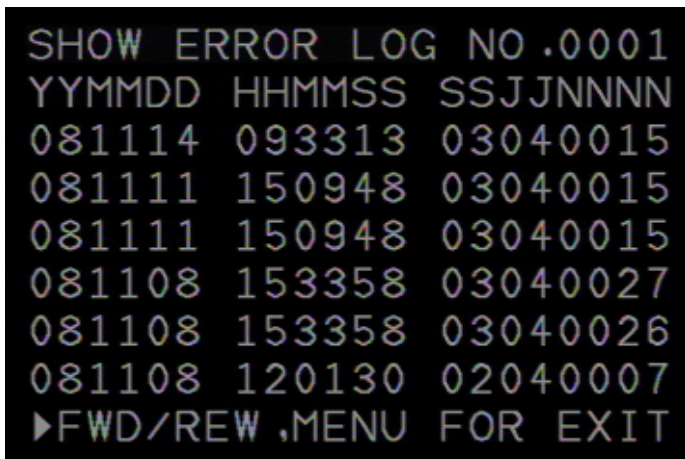
- 工場出荷時設定に戻します。記録された映像はそのままです。



- 選択後は、電源の再投入が必要です。

6.) - 2. - 5 ADMIN MENU - SYSTEM2 - SHOW ERROR LOG

- エラーログを表示します。



- 発生日、発生時刻、エラー内容の順に表示します。
- エラー内容については、別紙エラーコード表・エラー対応表を参照して下さい。

6.) - 2. - 6 ADMIN MENU - SYSTEM2 - SHOW OP LOG

- オペレーションログを表示します。

```
SHOW OP LOG      NO.0001
YYMMDD HHMMSS SSCC00II
081114 100553 01043048
081114 100545 01043047
081114 100534 01043046
081114 100521 01043045
081114 100508 01043038
081114 100502 01043038
▶FWD/REW ,MENU FOR EXIT
```

- 操作日、操作時刻、操作内容の順に表示します。
- メンテナンス用です。

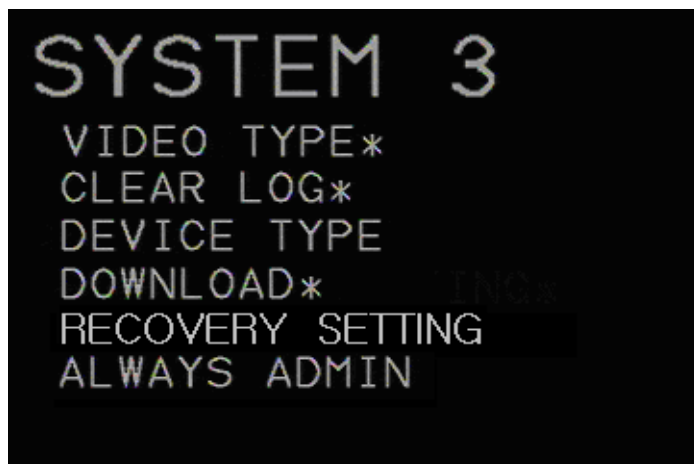
6.) - 2. - 7 ADMIN MENU - SYSTEM2 - SHOW VERSION

- ファームウェアのバージョンを表示します。

```
SHOW VERSION
CPU1:Dec1108 11:52:18
CPU2:Nov2608 10:59:29
CPU3:1.20.003
0202 153B FFFF 015B
0016 0016 105A 002A
FFFF 015B 0016 0016
105A FFFF FFFF 018A
HIT CUE KEY TO EXIT
```

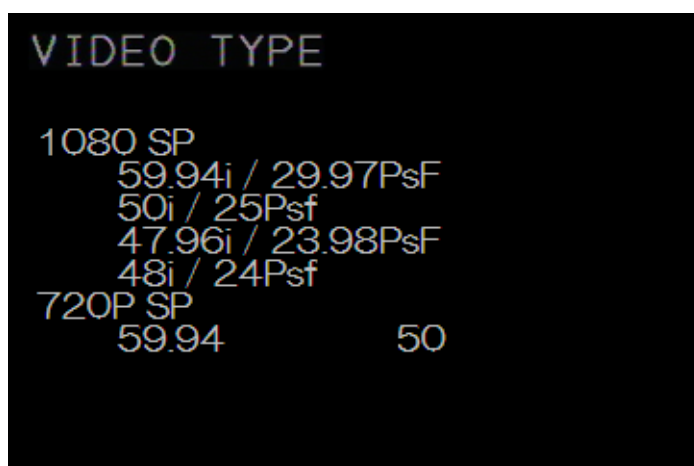
- メンテナンス専用です。

6.) - 3 ADMIN MENU - SYSTEM3



6.) - 3. - 1 ADMIN MENU - SYSTEM3 - VIDEO TYPE

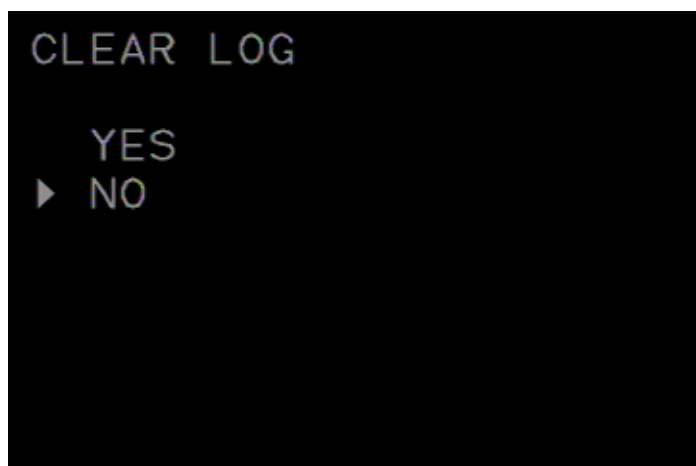
●ビデオタイプを選択します。



○ご使用の環境に併せて選択して下さい。

6.) - 3. - 2 ADMIN MENU - SYSTEM3 - CLEAR LOG

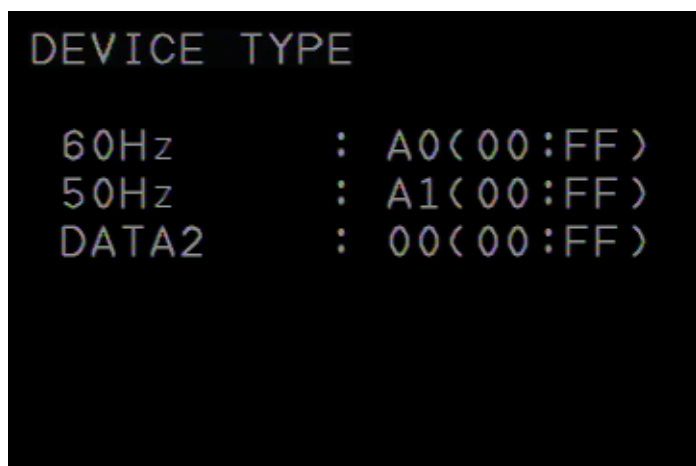
●エラーログ、オペレーションログをクリアします。



○クリア後は、電源の再投入が必要です。

6.) - 3. - 3 ADMIN MENU - SYSTEM3 - DEVICE TYPE

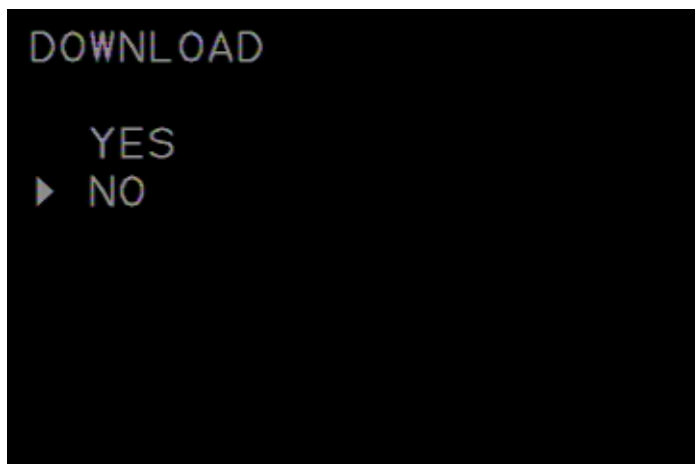
●SONY 製コントローラが認識する、本機のデバイスタイプを指定します。



○最適化されています。ビデオレコーダの設定にすると、本機的能力を損なうことがあります。

6.) - 3. - 4 ADMIN MENU - SYSTEM3 - DOWNLOAD

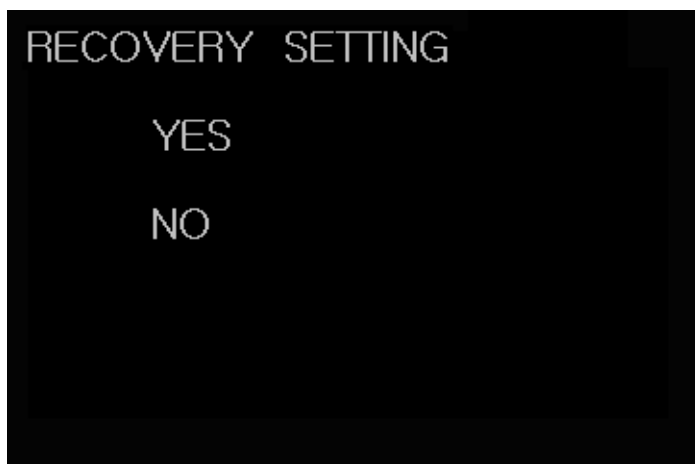
- ファームウェアをイーサネットから更新します。



- 専用ソフトウェアが必要です。
- メンテナンス専用です。

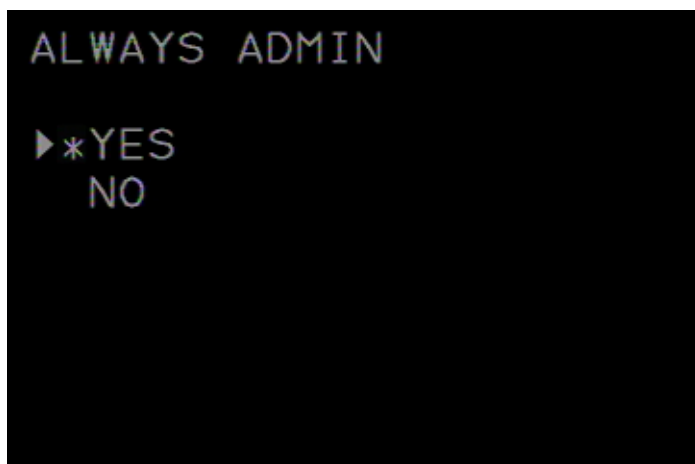
6.) - 3. - 5 ADMIN MENU - SYSTEM3 - RECOVERY SETTING

- 「SAVE SETTING」に保存した設定を初期化し、現在の設定についても「SET DEFAULT」を行ないます。



6.) - 3. - 6 ADMIN MENU - SYSTEM3 - ALWAYS ADMIN

- 立ち上げ時に任意のボタンの3つ押しで ADMIN メニューが出現します。
- 呼び出し操作を毎回せずに ALWAYS ADMIN が表示されます。

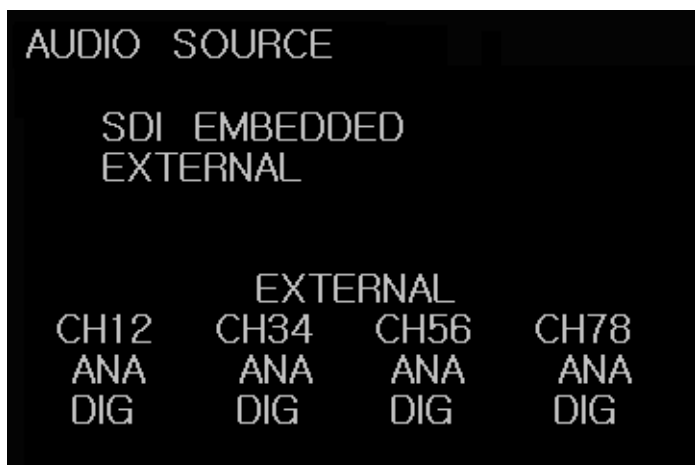


6.) - 4 ADMIN MENU - AUDIO



6.) - 4. - 1 ADMIN MENU - AUDIO - AUDIO SOURCE

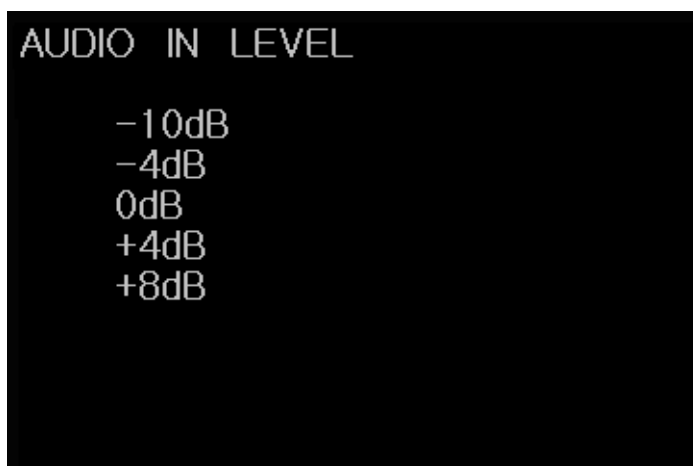
●音声入力の種類を選択します。



○EXTERNAL (ANALOG または AES/EBU) 設定でご使用になる場合には、別売のオーディオオプションボックスが必要になります。

6.) - 4. - 2 ADMIN MENU - AUDIO - AUDIO IN LEVEL

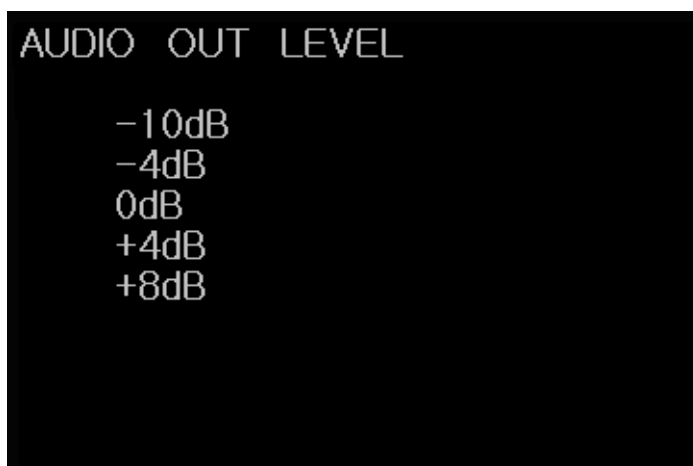
●入力音声の基準レベルを選択します。



○音声入力を ANALOG にした場合にのみ有効です。

6.) - 4. - 3 ADMIN MENU - AUDIO - AUDIO OUT LEVEL

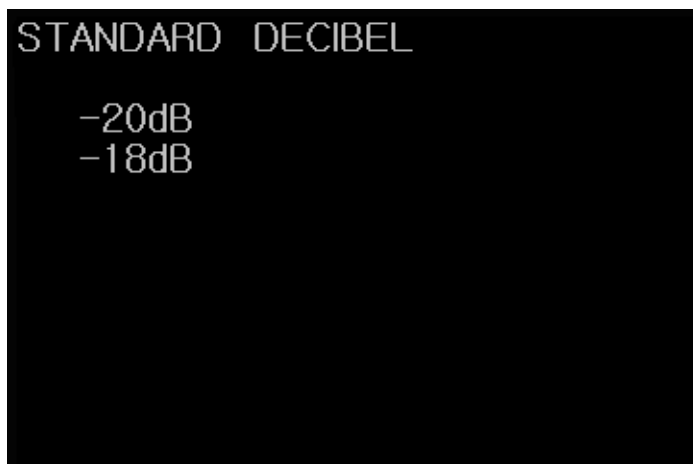
●出力音声の基準レベルを選択します。



○音声入力を ANALOG にした場合にのみ有効です。

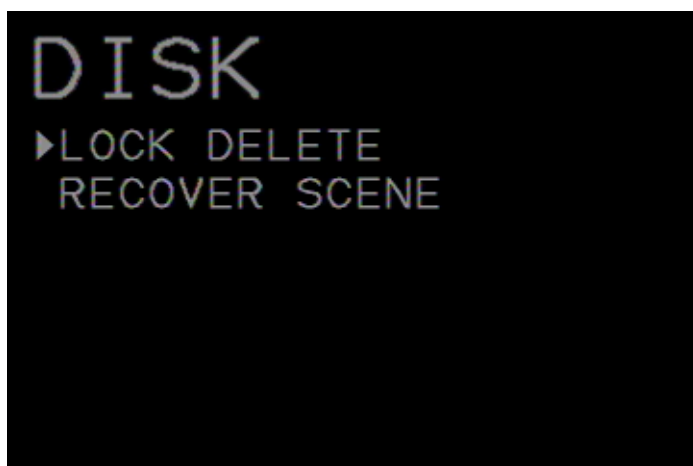
6.) - 4. - 4 ADMIN MENU - AUDIO - STANDARD DECIBEL

●デジタル音声の基準レベルを選択します。



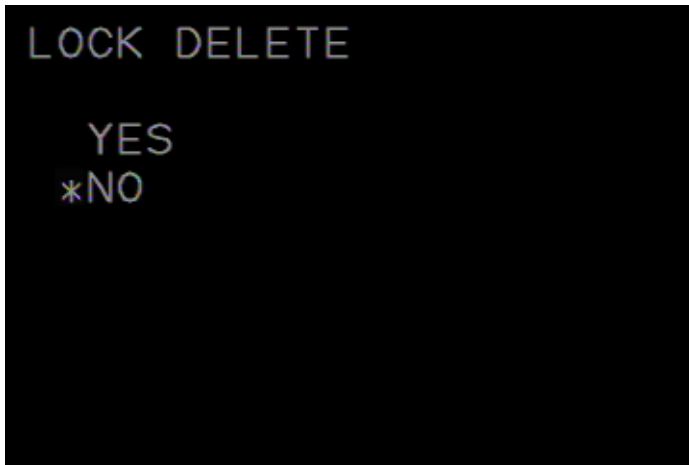
○音声入力を ANALOG にした場合にのみ有効です。

6.) - 5 ADMIN MENU - DISK



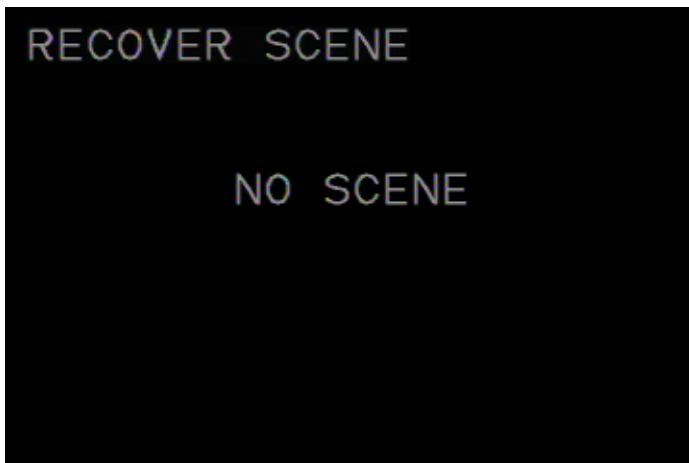
6.) - 5. - 1 ADMIN MENU - DISK - LOCK DELETE

●デリートマークの操作を不能にします。



6.) - 5. - 2 ADMIN MENU - DISK - RECOVER SCENE

●再生不能な画像を含むシーンを可能な限り修復します。



○修復する対象シーンは、再生で選択されているシーンとなります。

※全ての場合において、修復できるものではありません。

※削除したシーンを復活させるメニューではありません。

[illegible]

サービスに関するお問い合わせは

株式会社 オンテック

ビデオコミュニケーションビジネスユニット

TEL : 03-5256-2061

FAX : 03-5256-2065

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2丁目8番2号 神田プライムビル 10F

※本書に記載されている内容を実行したことにより発生したいかなる損害に対しても、弊社は責を負いかねます。

何らかの不都合により、正常に録画・再生ができなかった場合の補償、録画・編集した内容（データ）の消失、及び直接間接の損害に対して、弊社は一切の責任を負いません。予めご了承下さい。

※本書の内容は改定のため予告なく変更されることがありますので予めご了承下さい。